

2020年度

事業報告書

自 2020年4月 1日
至 2021年3月31日

目 次

第1	概要	1
第2	事業の状況	2
1.	「科学振興のための研究助成と研究交流」事業	2
2.	「日中未来共創プロジェクト」事業	6
3.	「科学知識の普及・啓発」事業	10
第3	会議等	15
第4	その他の重要事項	19

【別表】

(1)	2020年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）	21
(2)	2020年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（実践研究）	32
(3)	2020年度海外発表促進助成助成対象者一覧表	33
(4)	2020年度笹川科学研究助成奨励賞受賞者一覧表	34
(5)	2019年度笹川科学研究助成奨励賞受賞者一覧表	35
(6)	2020年度日中未来共創プロジェクト図書寄贈実績表	36
(7)	2020年度サイエンスメンタープログラム研究一覧表	37
(8)	役員名簿	38
(9)	評議員名簿	39

第1 概要

社会的課題の解決や経済再生の原動力として、科学技術とイノベーションの一体的な推進が求められている。科学・技術の振興には、研究投資や研究者の育成が必要とされるほか、広く一般市民の科学に対する関心の高まりが不可欠と言える。

また、中国への図書の寄贈を通じた文化交流については、高まる日本関係図書への需要に応じる形で大学図書館への寄贈を継続しており、国家間の問題を超越して、着実な進展を見せている。

2020年度事業実施にあたっては、評議員、理事等のアドバイスを受けながら、ポートレウス公益資金による日本財団の助成金を受けて、以下の目的を達成することに努めた。

なお、2019年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症（COVID-19、以下「新型コロナウイルス」）の感染拡大の影響により、当初予定していた対面でのイベント等が中止・延期、もしくはオンラインでの開催となった。

1. 科学・技術に関する若手人材の育成、研究の全国的な掘り起こしを図るため、2020年度笹川科学研究助成は、323件の科学研究助成を行った。また、助成を受けた研究者の研究活動の展開を支援するため、その研究成果発表を支援し、学術成果の広範な浸透・普及を図った。
2. 日本で収集した日本関係図書約12万冊を中国の大学・研究機関に寄贈し、日本文化の理解促進を図るとともに、日中双方向の「作文コンクール」「日本研究論文コンクール」等を実施することにより、日中間の相互理解の促進と友好意識の醸成を目指した。
3. Webサイトの科学実験データベースのコンテンツの追加、緊急事態下における在宅向けのコンテンツの公開、広く一般に生命科学の基礎知識を身に付けてもらうための本会独自のテキストの制作、経験豊かな科学者による中学生・高校生への研究指導（メンター）事業の実施、若手研究者の資質を向上させるための書籍の出版等を通じて、様々な角度から広く科学知識の普及・啓発に努めた。

	対象領域	助成件数
学術研究	人文・社会系	32件
	数物・工学系	40件
	化学系	38件
	生物系	154件
	複合系	44件
実践研究	教員・NPO職員等	9件
	学芸員・司書等	6件
合 計		323件

3) 研究成果公表支援（海外発表助成）

① 2020年度海外発表促進助成

- a. 申請資格：笹川科学研究助成を受けた者
- b. 助成件数：3件
- c. 助成金額：86,189円（1件当たり平均金額28,730円）

[別表(3) 2020年度海外発表促進助成助成対象者一覧表]

② 2021年度海外発表促進助成の募集案内および第1期助成計画策定

4) 「笹川科学研究奨励賞」の選出及び授与

① 笹川科学研究奨励賞の選出：

2020年度笹川科学研究助成者の中から、笹川科学研究助成選考委員会で、16名（研究領域ごとに2名ずつ）を選出した。選考に当たっては単に研究の内容や成果だけに捉われず、研究に対する取組み姿勢なども評価した。

[別表(4) 2020年度笹川科学研究助成奨励賞受賞者一覧表]

② 笹川科学研究奨励賞の授与：

2019年度に選出された16名に対して、笹川科学研究奨励賞を授与し、賞状及び副賞（10万円）を贈呈した。

[別表(5) 2019年度笹川科学研究助成奨励賞受賞者一覧表]

5) 研究助成の推進

① 2021年度笹川科学研究助成計画原案の作成

a. 募集計画策定等

募集要項の作成および選考方針については、笹川科学研究助成事業委員会にお

いて、また、選考基準や選考細則については、笹川科学研究助成領域別選考委員会の議を得て策定した。各系の中から「海に関係する研究」を重点テーマとして拾い上げる事で、より広い意味での海洋関連科学への助成を行うこととした。

b. 公募

大学、研究機関、学会等約 600 箇所および博物館、図書館等約 1,500 箇所に募集のためのメール配信を行い、広く周知した。

・募集期間：2020 年 9 月 15 日～2020 年 10 月 15 日

・応募件数：1,033 件の研究計画の申請を受付した。

(学術研究 978 件、実践研究 55 件)

c. 助成計画原案の作成

笹川科学研究助成領域別選考委員会での審査選考を経て、2020 年度笹川科学研究助成計画原案を作成した。

② 2019 年度笹川科学研究助成の研究報告書の整備

③ 研究助成実績資料の整備

6) 自主事業

笹川科学研究助成の OB・OG が行っている研究内容を社会へ発信して周知すること及び、過去助成者と企業の連携強化のために、継続的なフォローアップの充実を目指し、海洋分野に関する事柄をテーマに研究成果の発表を実施する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止により中止した。

(2) 事業成果等

笹川科学研究助成では、他から研究助成が受け難い若手中心の優れた研究者に助成することで、若手研究者の育成を図っている。自然科学のみならず、人文・社会学の研究も対象とし、特に基礎的な学術分野において、新規性、独創性、萌芽性のある研究を奨励し、研究への意欲を盛り上げることで、外国人留学生も含めた若手研究者の育成に貢献しているものである。実践研究では、特定分野の研究の成果を実践の場に活かすとともに、実践の場を通して広くその分野の活性化・発展につながることを期待できる。Web 申請を開始して 4 年目となり、申請者側の利便性の向上として、外国人留学生の英語での入力について改善を行い、選考委員向けに過去の申請書類等の閲覧機能を追加し速やかに審査を行えるように改善等を行った。選考委員からは新型コロナウイルスの影響があるものの、電子申請としていたために申請件数の落ち込みを防ぐことができたのではないかとの声もあり、申請方法を早期に電子化したことの効果表れたと考えている。

海外発表促進助成では、過去に研究助成を受けた研究者の研究活動を国際的に広めることを促し、その成果を社会に普及させるため、研究発表を支援するものであり、学術成

果の広範な浸透及び普及の促進に貢献しているものとする。本年度は、新型コロナウイルスの影響により海外研究集会の現地開催が軒並み中止や延期となり、新しい学会の形としてオンライン学会が開催されるようになった。そこで、オンライン学会についても助成対象として支援の拡充を行ったが、助成件数は伸び悩んだ。

2. 「日中未来共創プロジェクト」事業

【事業経費：27,278,121円（間接経費を除く）】

本事業の1)～4)については、ポートルース公益資金による日本財団の助成金を受けて実施し、5)については、笹川科学活性化基金事業として実施した。

(1) 内 容

1) 図書の収集・寄贈

国際理解の深化と友好親善の増進に貢献することを目的に、日本国内において出版社、図書館、企業、大学、個人等への提供依頼を経て図書を収集し、寄贈先の教育・研究分野、地域性、蔵書内容等を考慮するとともに各大学等の要望に応じて寄贈図書を選定後、中国の各大学・研究機関へ図書を寄贈した。

① 図書収集冊数：約 162,000 冊（提供件数：延べ 107 件）

② 図書寄贈冊数：117,822 冊（寄贈大学数：49 大学等）

[別表（6）2020年度日中未来共創プロジェクト図書寄贈実績表]

2) 「笹川杯全国大学日本知識大会」の開催

2020 年秋に開催予定であった本大会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止するとともにこれに係る日本招聘も中止した。

なお、本年度招聘の対象となっていた 2019 年度大会の成績優秀者等（20 名）については、2021 年度の日本招聘実施の際に合わせて招聘予定である。

3) 作文コンクールの開催

① 笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール（中国語版、日本語版）

中国の若者の日本に対する関心の喚起と理解の深化、日本に関する図書の読書促進を目的として、中国全国の大学生等を対象に、日本に関する図書の感想文コンクールを中日両語で開催した。

また、2019 年度及び 2020 年度の各作文コンクールの成績優秀者等（合計 19 名）を対象とした合同日本招聘については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止とし、2021 年度の日本招聘と合わせて実施する予定である。

a. 中国語版

- 共催機関：上海交通大学図書館
- 対 象：中国全国の大学生、大学院生
- 応募総数：601 点
- 審査結果：一等賞 5 点（日本招聘）、二等賞 10 点、最高組織賞 5 館

b. 日本語版

- 共催機関：人民中国雑誌社
- 対 象：18 歳～35 歳の中国人
- 応募総数：1,887 点
- 審査結果：一等賞 4 点（副賞：日本招聘）、二等賞 8 点、三等賞 30 点、優秀賞 40 点

② Panda（パンダ）杯全日本青年作文コンクール

日本の若者の対中関心の喚起と対中理解の促進を目的として、“中国”をテーマに日本語で応募の作文コンクールを開催した。

また、中国訪問プログラム（訪中者 26 名）については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止し、2021 年度の中国訪問プログラムと合わせて実施することとした。

- 共催機関：人民中国雑誌社、中国大使館
- テ ー マ：「@Japan わたしと中国」
- 対 象：16 歳～35 歳の日本人
- 応募総数：481 点
- 審査結果：優秀賞 10 点、入選 10 点、佳作 35 点
- 授賞式：オンラインで開催
 - 期 日：2020 年 11 月 23 日（月）
 - 参加者：受賞者等 約 100 名



4) 「日中未来共創プロジェクト 20 周年記念誌」（中国語版）の発行

本プロジェクトの軌跡、実績、反響等を取り纏めて 2019 年度に発行した「記念誌」（日本語版）を、中国語に翻訳のうえ発行する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大等の影響により委託業務に遅れが生じ、電子版のみの完成にとどまった。

5) 「笹川杯日本研究論文コンクール」の開催

中国の大学における日本研究の促進と日本語教育の振興を目的に、日本に関する研究論文コンクールを開催した。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、決勝戦については、オンラインで実施した。なお、日本招聘（2019 年度日本招聘対象者と合わせて 4 名）については、中止するとともに 2021 年度の日本招聘と合わせて実施することとした。



① 共催機関：

中国教育部大学日本語専攻教学指導分科委員会、中国日本語教学研究会、
吉林大学

② 対 象：中国全国の大学の日本語専攻学生

③ 応募総数：371 編

④ 決勝戦：

- 期 日 2021年1月14日（木）
- 参加者 一次審査通過者 44名／30編
- 概 要 プレゼンテーション及び口頭試問

⑤ 審査結果：

特等賞 2編、一等賞 4編、二等賞 9編、三等賞 14編、優秀賞 125編

(2) 事業成果等

図書収集については、積極的な情報収集と協力依頼などにより前年度の2倍強となる約16.2万冊の図書を収集することができた。本年度において特徴的なことは、各分野の教育・研究図書を大量収集するとともに、各図書の活用が期待できる寄贈先への一括寄贈を決定したことである。例えば、明治大学名誉教授（考古学）からの約3万冊は北京大学へ既に寄贈、中央大学法学部教授（16世紀フランス研究）からの約26,000冊は華東師範大学へ、立教女学院短期大学からの約76,000冊は浙江越秀外国語学院への寄贈が決定している。寄贈総数は、前年度の約2.4倍となる117,822冊に達した。

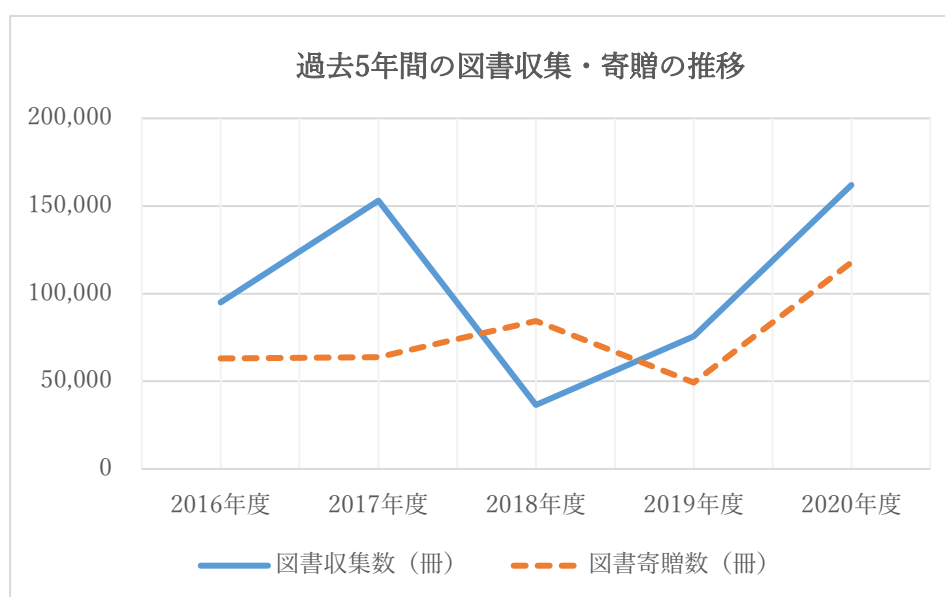
中国の大学は、寄贈図書の受領にあたって、中国国内経費（内容審査、配送料等）として7元/冊（約116円）を負担している。本年度寄贈の117,822冊には824,754元（13,690,000円）の中国国内経費が発生し、これを中国の各大学が受領冊数に応じて負担しているが、このことは寄贈図書に対する中国側のニーズと評価の高さを裏付けるものと考えられる。

中国においても新型コロナウイルスの影響が大きく、大学の授業はオンラインがメインとなったが、日本語学習者にとっても、非日本語学習者にとっても、「笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール」への応募は、日本と中国との関係を改めて考える機会となったと期待できる。

本年度は、新型コロナウイルスの影響により、日中両国における様々なイベントや国内外の出張等、人的交流や人の移動等がほぼ不可能となったが、「Panda杯全日本青年作文コンクール」授賞式、「笹川杯日本研究論文コンクール」決勝戦、図書寄贈候補大学へのヒアリング調査等については、オンラインで実施した。このことは、コロナ禍にあって人的交流の意義を参加者相互が共有できる機会になったのみならず、オンライン活用による新たな事業展開の可能性を見出すきっかけとなった。広報面では、「笹川杯日本研究論文コンクール」の決勝戦の動画を人民網で配信したが、20日間のアクセスは約

47,000 に達するなど大きな反響を得た。この動画は、中国の大学の日本語学部の学生や教師にとって、日本に関する研究論文のプレゼンや質疑応答を実践する際の模範となるものであり、中国の日本語教育の発展に繋がるものと期待できる。

本プロジェクトは、広範な機関や個人に対し社会貢献の一環としてプロジェクトへの支援を依頼してきたが、日本では1個人より100,000円の寄附金提供、講談社から新刊図書11,250冊（定価総額10,721,595円）の提供を得た他、中国では1企業から「笹川杯を味わい日本を知る作文コンクール」（中国語版）開催に係る協賛金として20,000元（約332,000円）を獲得した。



3. 「科学知識の普及・啓発」事業

【事業経費：19,688,548円（間接経費を除く）】

本事業の1)～3)については、モーターボート競走法制定40周年記念事業として、4)5)については、笹川科学活性化基金事業として実施した。

(1) 内 容

1) 科学実験データベースの公開

広く世界で活用されている伝承的な実験から最近開発されたユニークな実験まで様々な科学実験事例を収集網羅し、これに実験内容や方法のほか、分野、対象年齢、難易度などの検索項目を設けたデータベースをWebサイト上で広く公開した。また、新型コロナウイルスの影響により家にいることが多くなった子供たちが、家でできる実験を集めた「コロナに負けるな！お家実験」というコーナーを作成した。



① 委託先：兵庫教育大学原体験教育研究会

② 公開内容

Webサイト上で、原体験コラム291点、科学実験データベース730点を公開

a. 新規データの追加：

原体験コラムに24点、科学実験データベースに24点を追加した。

b. 「コロナに負けるな！お家実験」コーナーの追加：

新型コロナウイルスの影響により家にいることが多くなった子供たちのために、家でもできる実験を科学実験データベースから47点を選び、コーナーを追加した。

c. 動画の追加：

分かりやすく安全に実験を行えるように、動画を追加した。

また、科学実験イベント（移動式暗室による光の実験及び講義）を独立行政法人国立青少年教育機構「子どもゆめ基金」（以下、子どもゆめ基金）に申請したところ採択されたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とした。

2) 地球科学の理解促進

本会で制作した短編映像「Cubic Earth－もしも地球が立方体だったら－」を題材とした気象に関する科学体験講座を子どもゆめ基金の助成により開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催を見合わせた。

3) 中高生のためのサイエンスメンタープログラム

科学に高い関心を持つ中学生・高校生に対し、半年以上の期間にわたり学校教育の枠にとらわれずに、専門研究者による科学研究の基礎指導を実施した。

また、広く科学研究の基礎の定着を図るため、メンティと中高生・教員の希望者を対象に、統計及び研究倫理の講習を実施した。

- ① 研究指導数：25 件（うち 8 件は 2021 年度も指導を継続する。）
- ② 指導方法：メールを主とし、必要に応じて Zoom や実地での対面指導を実施する。
- ③ 期 間：2020 年 4 月～2021 年 3 月
- ④ サイエンスメンタープログラム研究発表会：
 - a. 第 9 回サイエンスメンタープログラム研究発表会
 - 開催日：2020 年 8 月 16 日
 - 内 容：メンティによる 10 件の研究発表をオンラインで行った。
 - b. 第 10 回サイエンスメンタープログラム研究発表会
 - 開催日：2021 年 3 月 28 日
 - 内 容：メンティによる 11 件の研究発表をオンラインで行った。また、当該研究発表において、本プログラムの成果が顕著に認められた 2 件の研究を優秀賞として選出した。
- ⑤ その他：
 - a. 統計講習（名称：科学研究体験ワークショップ）
 - 開催日：2021 年 3 月 7 日、3 月 27 日
 - 講 師：陣内修氏（東京工業大学准教授）
 - 参加者：中高生 37 名、高校教諭 7 名
 - 内 容：全国各地の参加者が測定機器を自作して温・湿度を測定し、統計解析を行った。
なお、本講習は、子どもゆめ基金の助成を受けて、オンラインで実施した。
 - b. 研究倫理の講習
 - 開催日：2020 年 8 月 16 日、2021 年 3 月 28 日
 - 講 師：村本哲哉氏（東邦大学講師）
 - 参加者：24 名（2020 年 8 月 16 日）、23 名（2021 年 3 月 28 日）
 - 内 容：サイエンスメンタープログラム研究発表会の同日に、科学研究を進める上で必要な研究倫理について考える機会を提供した。

[別表 (7) 2020 年度サイエンスメンタープログラム研究一覧表]

4) 生命科学テキスト「人間の生命科学」プロジェクト

生命科学に関する基礎知識を授けるため、従来の教科書とは異なる発想で「生物としての人間」を軸にした生命科学の副読本（以下、テキスト）を制作した。

2020年度は、テキストを大学、高校など教育現場で使用してもらう普及活動を継続しつつ、昨年度下期に着手した「執筆者による改訂」および「テキスト問題集作成」を引き続き実施した。

① 執筆者による改訂：

テキスト執筆開始時より4年目を迎えたが、この間生命科学に関する学術的知見・医療などの技術革新・社会的価値観の新しい変化が起きつつあることを鑑み、各章執筆者による加筆、改訂を行った。

② 問題集（ワークブック）作成：

本テキストのWeb版は、学生・生徒の宿題や自由研究で自ら調べる教材として教育効果を期待できるという利用者からの評価があり、その効果をより高め、テキストの内容理解を定着させるための問題集（ワークブック）を作成し、利用者へ送付した。

5) 科学隣接領域の研究

総合的な視野を持った創造的な若手研究者の育成を目指し、書籍『科学と倫理』の出版と、「科学と芸術」に関する研究会を開催した。

なお、「科学と芸術」に関するセミナーを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、研究会の開催が予定より遅れたため、今年度の開催を見合わせた。

① 『科学と倫理 AI時代に問われる探求と責任』出版：

- a. 刊行日：2021年2月10日刊行
- b. 出版社：中央公論新社
- c. 執筆者：13名
- d. 発行部数：2,500部

※近年の笹川科学研究助成者に希望を募り約300名に配布

② 「科学と芸術」研究会開催：

- a. 開催回数：4回 ※Web開催
(2020年7月29日、10月5日、11月9・26日)
- b. 内容：「科学と芸術」に関する講義



- c. 参加者：特別講師 曾我大介氏（東京ニューシティ管弦楽団正指揮者）
松居竜五氏（龍谷大学国際学部国際文学科教授）
研究会メンバー 10名

（2）事業成果等

「科学実験データベースの公開」では、「コロナに負けるな！お家実験」コーナーへの反響が特に大きく、公開時にはホームページ閲覧数が約 10 倍に増えるなど大変好評であった。新規事業として、分解すると宅配便で配送できる暗室を用いた光の実験教室は、「子どもゆめ基金」に採択されるなど、事業内容は好評であったが新型コロナウイルスの影響により実施することができなかった。

「地球科学の理解促進」では、本会が作成した「立方体地球-もしも地球が立方体だったら-」を使った科学体験講座を行い、小中学生へ地球科学に対する興味関心を喚起する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため、本年度の実施を見合わせた。

「中高生のためのサイエンスメンタープログラム」では、資質の高い中学生・高校生が、大学教授などの専門研究者から、一定の期間中科学研究の進め方を学ぶことで、より一層研究に打ち込むようになる、もしくは、早い段階から将来の目標を明確にするなど、生徒には多大な影響を及ぼしている。顕著な例では、2019 年度に本プログラムを修了した OB が生態模倣ロボットの研究をさらに進めるためにマサチューセッツ工科大学に進学した。

また、メンティの他に、科学研究を行っている中学生・高校生・学校教員などを対象として、統計学・研究倫理の講習を実施し、科学研究の基礎的素養を身に付ける機会を提供した。

「生命科学テキスト『人間の生命科学』プロジェクト」では、新型コロナウイルスの感染拡大のため、面談等による普及活動が制限されていたが、本年も 36 の大学等の講義で利用され、1,170 名の学生の利用登録があった。利用教員数は前年（40 件）並みであったが、生徒・学生数の登録者が大幅に増え（昨年 357 件）、オンライン授業の促進傾向が反映された。

「科学隣接領域の研究」事業では、『科学と倫理』を刊行し、研究者の人材育成事業の一環として若手研究者を中心に配布した。専門外の倫理問題や、授業では取り扱われない研究者の姿勢を考えさせられた等の感想から、本書が研究者の視野を広げ、倫理について再考する機会を提供できたと考えられる。

また、「科学と芸術」研究会は新型コロナウイルスの影響により Web 開催に切替えたが、当初延期していたことが影響し、研究会の成果を一般公開するセミナーは来年度開

催予定である。研究会の延期中は、研究会メンバーからコラム「新型コロナウイルス感染症を考える」を募集し、一般の方が感染症を多角的に考える契機となることを目指して公開するなど、Webサイトの充実を図った。

なお、「科学実験データベースの公開」における暗室による光の実験教室、及び「地球科学の理解促進」における科学体験講座は、「子どもゆめ基金」にて助成金の決定を受けていたが、上述した通り、本年度の実施を見合わせた。2021年度の開催を計画し、再度「子どもゆめ基金」に申請をしたところ、助成金交付の採択を受けた。

第3 会議等

(1) 理事会

1) 第26回理事会（一般法人法第96条に基づく決議の省略）

① 決議があったものとみなされた日：

2020年6月14日

② 理事会の決議があったとみなされた事項の内容：

- a. 第1号議案 2019年度事業報告書及び決算報告書の承認に関する件
- b. 第2号議案 第10回評議員会の開催に関する件

2) 第27回理事会

① 開催年月日：2020年6月30日

② 議事事項と会議の結果：

- a. 第1号議案 会長及び常務理事の選定に関する件
全会一致で次のとおり可決
会長 高橋 正征
常務理事 石倉 康弘、佐々木 文君
- b. 第2号議案 会長及び常務理事の月額報酬額に関する件
全会一致で可決
- c. 第3号議案 顧問の選任に関する件
全会一致で可決
- d. 第4号議案 商議員の選任に関する件
全会一致で可決
- e. 第5号議案 2020年度事業計画及び収支予算の変更に関する件
全会一致で可決

3) 第28回理事会

① 開催年月日：2021年3月17日（オンラインにて開催）

② 議事事項と会議の結果：

- a. 第1号議案 2021年度事業計画及び収支予算の承認に関する件
全会一致で承認
- b. 第2号議案 公益目的事業の内容の変更について
全会一致で可決
- c. 第3号議案 育児・介護休業等に関する規程の一部改正に関する件
全会一致で可決

なお、役員の名簿については〔別表（8）役員名簿〕のとおり。

(2) 評議員会

1) 第10回評議員会

① 開催年月日：2020年6月30日

② 議事事項と会議の結果：

- a. 第1号議案 2019年度決算報告書の承認に関する件
全会一致で承認
- b. 第2号議案 理事の選任に関する件
全会一致で次のとおり可決
重任：高橋 正征、石倉 康弘、佐々木 文君、川口 春馬、
木村 龍治、和崎 春日
新任：室伏 きみ子、渡邊 雄一郎
- c. 第3号議案 監事の選任に関する件
全会一致で次のとおり可決
重任：菅井 明則
新任：馬目 利昭
- d. 第4号議案 代表理事の退職慰労金の支給係数及び支給額の決定に関する件
全会一致で可決
- e. 第5号議案 評議員の退職慰労金に関する件
全会一致で可決

なお、評議員の名簿については〔別表（9）評議員名簿〕のとおり。

(3) 各種委員会

1) 評議員選定委員会

開催年月日	議事事項
(第3回) 2020年6月25日	評議員の選任について 次のとおり選任された。 重任：門野 泉、西原 祥子、前野 隆司、 前田 晃 新任：境 浩光、竹本 和彦、中村 和生、 山崎 壮

2) 笹川科学研究助成事業委員会

開催年月日	議事事項
(第71回) 2020年8月21日	1 2021年度笹川科学研究助成募集要項等の策定について 2 電子申請システムの改善について
(第72回) 2020年11月9日	2021年度笹川科学研究助成選考方針の策定について
(第73回) 2021年2月19日	1 2021年度笹川科学研究助成の選考結果について 2 2021年度海外発表促進助成の募集について

※いずれもオンラインにて開催した。

3) 笹川科学研究助成領域別選考委員会

領 域	開催年月日	議 事 事 項
数物・工学系	2020年12月11日	2021年度笹川科学研究助成の選考細則の策定について
化学系	2020年12月4日	
生物（A）系	2020年11月25日	
生物（B）系	2020年11月30日	
複合系	2020年12月4日	
海洋関連研究	2020年12月7日	
実践系	2020年12月1日	
人文・社会系	2021年1月22日	2021年度笹川科学研究助成の申請課題の選考について
実践系	2021年1月26日	
人文・社会系	2021年3月11日	2020年度笹川科学研究助成に係る完了報告書の評価及び笹川科学研究奨励賞の選出について
数物・工学系	2021年3月5日	
化学系	2021年2月26日	
生物（A）系	2021年3月16日	
生物（B）系	2021年3月9日	
複合系	2021年3月10日	
海洋関連研究	2021年3月9日	
実践系	2021年3月2日	

※いずれもオンラインにて開催した。

4) サイエンスメンター事業委員会

開催年月日	議 事 事 項
(第8回) 2020年12月1日	2021年度サイエンスメンタープログラムの募集及び選考について

※オンラインにて開催した。

第4 その他の重要事項

(1) 内閣府

年月日	内 容
2020年7月16日	2019年度における事業報告等の提出を行った。
2020年7月31日	代表者の変更及び理事（代表者を除く。）、監事、評議員の変更に係る届出書を提出した。
2021年3月30日	2021年度における事業計画書等の提出を行った。
”	公益目的事業の種類又は内容の変更に係る変更認定申請書を提出した。

(2) 日本財団

年月日	内 容
2020年4月1日	日本財団と2020年度事業について助成契約を締結した。 <ul style="list-style-type: none"> ・科学振興のための研究助成と研究交流（公益） ・科学振興のための研究助成と研究交流（海洋） ・日中未来共創プロジェクト（公益） ・日中未来共創プロジェクト（海洋） ・基盤整備（公益） ・基盤整備（海洋）
2020年4月20日	日本財団へ2019年度事業の完了報告書を提出した。 <ul style="list-style-type: none"> ・科学振興のための研究助成と研究交流（公益） ・科学振興のための研究助成と研究交流（海洋） ・基盤整備（公益） ・基盤整備（海洋）
2020年5月19日	2019年度笹川科学活性化基金に係る報告を行った。
2020年10月28日	2021年度事業実施のため、日本財団への助成金交付申請を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・科学振興のための研究助成と研究交流（公益） ・科学振興のための研究助成と研究交流（海洋） ・日中未来共創プロジェクト（公益） ・日中未来共創プロジェクト（海洋） ・中高生のためのサイエンスメンタープログラム ・基盤整備（公益） ・基盤整備（海洋）

年月日	内 容
2021年2月24日	2021年度事業実施のため、日本財団への助成金交付申請を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ READ JAPAN PROJECT (公益) ・ READ JAPAN PROJECT (海洋)

(3) その他

年月日	内 容
2020年4月1日	独立行政法人国立青少年教育振興機構「2020年度子どもゆめ基金」から、次のイベントの助成金交付決定の通知を受けた。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な天気サイエンス実験体験 -空気・雲・雨のふしぎ- ・ 離島で行うサイエンスキャンプ ・ 科学研究体験ワークショップ
2020年11月20日	独立行政法人国立青少年教育振興機構「2021年度子どもゆめ基金」に次のイベントの助成申請をした。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な天気サイエンス実験体験 ・ 離島で行うサイエンスキャンプ ・ 科学研究体験ワークショップ

別表（１）２０２０年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
1	人文・社会	高宮 秀典	東京大学大学院法学政治学研究科総合法政専攻	博士後期課程 4年	参議院の人材的な独自性と政策的帰結—参議院の利益表出機能とシニア性に着目して—	400,000
2	人文・社会	高垣 里衣	大阪大学大学院文学研究科文化形態論専攻西洋史学専門分野	博士後期課程 3年	大西洋革命期におけるスペイン北部商人による海洋商業ネットワークの展開	185,832
3	人文・社会	下田 麻里子	早稲田大学大学院文学研究科考古学コース	博士後期課程 1年	カンボジア ポスト・アンコール期王都ロンヴェークの都市構造に関する考古学的研究	700,000
4	人文・社会	浅田 直規	筑波大学大学院人文社会科学研究科国際公共政策専攻	博士後期課程 2年	児童福祉における「家族」の成立に関する人類学的研究—ルーマニアの里親制度を事例に—	499,746
5	人文・社会	千葉 知世	大阪府立大学人間社会システム科学研究科	准教授	離島漂着ごみ問題の法制度的課題と費用負担配分：和歌山県友ヶ島をモデルとして	371,549
6	人文・社会	太田 圭	東京大学大学院人文社会系研究科考古学専門分野	博士課程 3年	縄文時代中期/後期移行期における社会変容プロセスの解明—土器・住居・土器埋設遺構からみる地域間関係—	271,210
7	人文・社会	Megita Ryanjani Tanuputri	愛媛大学大学院連合農学研究科	博士課程 2年	サプライチェーンの再設計による貧困削減	400,000
8	人文・社会	山田 翔太	立命館大学大学院国際関係研究科国際関係学専攻	博士後期課程 5年	開発援助により変化する資源の維持管理と活用方法—バングラデシュ農村の飲料水を事例に—	650,000
9	人文・社会	栗原 美紀	上智大学アジア文化研究所	特別研究員	「治療」と「癒し」の間：マレーシアにおけるヨガの指導をめぐる社会学的研究	301,850
10	人文・社会	ケイ 光大	慶應義塾大学大学院社会学研究科	博士後期課程 3年	宗教と近代体制との相互協調性の比較研究：台湾の「积教」と中国広東省の「香花派」の事例から	600,000
11	人文・社会	王 楽	東京大学情報学環・学際情報学府	特任研究員	満洲国の多民族社会における「宣撫」概念の形成に関する研究	660,433
12	人文・社会	味志 優	東京大学大学院総合文化研究科	博士課程 5年	タンザニア農村部における汚職の実践や認識のあり方に関する人類学	99,134
13	人文・社会	林 孝洋	京都大学大学院人間・環境学研究科共生文明学専攻歴史社会論講座	博士後期課程 3年	海を越えた「イタリア統一運動」—サンフランシスコのガリバルディ支援—	700,000
14	人文・社会	澤口 右樹	東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻	博士後期課程 1年	現代イスラエルにおける軍隊とジェンダー：女性の兵役経験の語りから	610,000
15	人文・社会	大平 理紗	京都府立大学大学院文学研究科史学専攻	博士後期課程 2年	中国北朝陶俑の考古学的研究—写真三次元計測による同範・同型品の抽出を中心に—	300,358
16	人文・社会	邱 吉	関西大学大学院東アジア文化研究科文化交渉学	博士後期課程 1年	王一亭と近代日本美術界：大正・昭和前期の「興亜美術」運動に関する研究	580,000
17	人文・社会	土取 俊輝	神戸大学大学院国際文化学研究科文化相関専攻	博士後期課程 2年	死者のエージェンシーから考える空き家の仏壇—新潟県佐渡市海外府地方を中心に—	670,000
18	人文・社会	烏飼 将雅	東海大学教養学部国際学科	非常勤講師	混合政体における政変後の政党制の再編：ウクライナにおける政変後の議員と政党の分析	700,000
19	人文・社会	三津山 智香	筑波大学大学院人文社会科学研究科歴史・人類学専攻	博士課程 5年	家畜守護に関わる信仰の地域的特徴の把握に向けた民俗学的研究—福島県白河市を事例に—	435,489
20	人文・社会	三浦 憲	京都大学大学院農学研究科生物資源経済学専攻国際農林経済学講座	助教	農村発展における地域エリート（村長・首長）と社会的慣習の役割の解明：アフリカ実証政治経済学の構築	700,000
21	人文・社会	倉本 亜優未	岡山県立大学大学院保健福祉学研究科保健福祉学専攻	博士後期課程 2年	新人医療ソーシャルワーカーの職務継続に関する探索的研究	530,000
22	人文・社会	張 龍龍	早稲田大学文学学術院	助教	台湾大撤退の国民党兵士たちと中断された人生：成人移行期における強制的移動と兵役経験	700,000
23	人文・社会	久保田 ちひろ	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科アフリカ地域研究専攻	博士課程 3年	ケニアにおける契約農業で実践される集団的自助努力—その課題と可能性—	122,252
24	人文・社会	北嶋 健治	早稲田大学教育総合科学学術院	助手	情報社会における個人のアイデンティフィケーションの検討	250,000
25	人文・社会	石川 雅章	広島大学大学院教育学研究科教育学習科学専攻数学教育学領域	博士後期課程 2年	数学的モデル化における日常言語から数学言語への翻訳過程の困難性に関する研究：言語学・論理学に着目して	400,000
26	人文・社会	中村 大輝	広島大学大学院教育学研究科教育学習科学専攻	博士後期課程 2年	理科の問題解決における仮説設定の質と深い学びに関する研究	430,000
27	人文・社会	丸山 優樹	筑波大学大学院生命環境科学研究科国際地縁技術開発科学専攻	博士後期課程 3年	セネガルにおけるオンライン調査システムを活用した農家の作付け意思決定モデルの構築	671,394
28	人文・社会	八木 達祐	立命館大学大学院先端総合学術研究科	博士後期課程 4年	ケニアにおける暴動の記憶とスラムツーリズムに関する人類学的研究	450,000

別表（1）2020年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
29	人文・社会	郭 ギョンヒ	千葉大学大学院融合理工学府創成工学専攻	博士後期課程3年	海の暮らしが育んだ千葉県の伝統的工芸・万祝の型紙のデジタル化とその活用：持続可能な地域活性化に向けて	540,000
30	人文・社会	萩藤 大明	神戸大学大学院法学研究科	研究員	戦後初期米国の東アジア安全保障政策と日米安全保障条約，1953-1961年	280,000
31	人文・社会	松永 千紗	総合研究大学院大学文化科学研究科地域文化学専攻	博士後期課程3年	非エスニック化する日系人街—21世紀アメリカにおける「コミュニティ」構築の実践を中心に	520,000
32	人文・社会	大村 文乃	日本大学芸術学部	研究員	サンゴ礁のイカ「コブシメ」の博物画を用いた海洋教育教材開発と効果検証～科学と芸術の融合を基に～	490,000
33	数物・工学	塩満 大祐	九州大学大学院工学府海洋システム工学専攻	博士後期課程3年	外圧を受けるリング補強円筒殻の高精度な最終強度推定式の開発と革新的構造様式の提案	880,000
34	数物・工学	北澤 直樹	九州大学マス・フォア・インダストリ研究所	学術研究員	低次元空間への可微分写像の構成を介した一般次元多様体の大域的な幾何学と諸科学技術への応用可能性	370,000
35	数物・工学	鈴木 光世	大阪市立大学大学院理学研究科数物系専攻	博士後期課程1年	グラディエントフローによる超対称理論への新たなアプローチ	250,000
36	数物・工学	長谷川 健太	埼玉大学大学院理工学研究科理工学専攻	博士後期課程3年	エンタングルメント第一法則を用いたラリタシュウィング場の方程式の導出	482,956
37	数物・工学	吉田 圭介	立命館大学大学院理工学研究科基礎理工学専攻物理科学コース	博士前期課程2年	スナップフィットのメカニクス：弾性、かたち、摩擦が生み出す非接着的かつ分離可能な接合機構	400,000
38	数物・工学	Zhang Jiaqi	北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス学系	博士後期課程3年	周波数変調型力センサーを組み込んだ TEM 観察法による金や白金ナノメカニックスの解明	650,000
39	数物・工学	中村 航	横浜国立大学大学院都市イノベーション学府都市地域社会専攻	博士前期課程2年	海面上昇と気候変動の影響を考慮した、マングローブが繁殖する海岸の長期的な地形変動モデルの作成	840,000
40	数物・工学	森 遥	北里大学大学院理学研究科分子科学専攻	博士後期課程1年	新しい幾何学を用いた初期宇宙のマイクロな時空構造の解明	600,000
41	数物・工学	荒井 玲於奈	東京工業大学大学院理学院物理学系	博士後期課程3年	AdS/CFT 対応の検証とその応用から探るブラックホールの微視的構造	59,834
42	数物・工学	楠本 多聞	量子科学技術研究開発機構放射線計測グループ	博士研究員	オージェ電子放出核種を使用した標的アイソトープ治療における間接作用の役割の解明	699,071
43	数物・工学	矢澤 明喜子	信州大学大学院総合医理工学研究科総合理工学専攻	博士課程2年	マトロイドおよびポリマトロイドから構成される環の強レフシユエツ性について	450,000
44	数物・工学	谷本 拓	山形大学大学院理工学研究科地球共生圏科学専攻	博士後期課程1年	放射光とレーザーを組み合わせた光電子分光法による Mg ₂ Si 単結晶における表面光起電力効果の解明	388,383
45	数物・工学	Septia Hardy Sujiantanti	広島大学大学院工学研究科輸送環境システム	博士後期課程2年	繰り返し荷重を受ける防撓パネルの構造強度解析に関する研究	940,000
46	数物・工学	比嘉 野乃花	広島大学大学院	助教	希土類キラルらせん磁性体における磁気ソリトン格子の動的状態	610,000
47	数物・工学	沓間 弘樹	東北大学大学院理学研究科天文学専攻	博士後期課程3年	CMB 偏光観測による原始重力波の探索・8周波数帯データ統合による前景放射の除去	400,000
48	数物・工学	畑澤 研太	弘前大学大学院理工学研究科理工学専攻知能機械工学コース	博士前期課程2年	バーチャル電極による電氣的刺激を用いた微小管滑走の可逆的かつ局所的な制御	680,000
49	数物・工学	阿部 駿佑	信州大学大学院総合医理工学研究科総合理工学専攻	博士課程3年	未利用熱の有効利用を可能にする高汎用性スラリー熱媒体の流動・伝熱特性に関する検討および流動性の向上	750,000
50	数物・工学	張 天龍	奈良先端科学技術大学院大学	博士後期課程2年	フェムト秒レーザーを用いた細胞小胞の高速高純度分離マイクロ流体デバイスの開発	710,000
51	数物・工学	中村 紗都子	名古屋大学宇宙地球環境研究所	特任助教	激甚宇宙天気災害時における地磁気誘導電流の日本電力供給へのリスク評価	450,000
52	数物・工学	齊藤 天晴	名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻	博士後期課程1年	HED 隕石の高精度年代測定により解き明かす原始地球型惑星ベスタにおける初期地殻分化プロセス	482,418
53	数物・工学	花澤 聡太	茨城大学大学院理工学研究科理学野	博士特別研究員	ピュアスピノール形式による超弦理論と一般化された低エネルギー有効理論の解明	320,000
54	数物・工学	山口 正行	東京大学大学院理学系研究科天文学専攻	博士課程3年	超解像度画像復元法を応用したサブミリ波観測による矮小原始惑星系円盤の解明	427,880
55	数物・工学	吉田 貴裕	新潟大学大学院自然科学研究科数理物質科学専攻	博士後期課程3年	電弱スケールの右巻きニュートリノによる物質生成機構	550,000
56	数物・工学	樗木 悠亮	東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻	博士後期課程1年	中間バンド型太陽電池の高効率化に向けた高密度量子ドット・ナノリングの作製と評価	750,000
57	数物・工学	小島 かな子	大阪府立大学大学院工学研究科航空宇宙海洋系専攻	博士後期課程1年	自律型洋上機と水中グライダーを用いた海獣類の生態調査方法の提案	850,000

別表(1) 2020年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
58	数物・工学	渡部 真史	中央大学理工学部都市環境学科	助教	津波石を活用した津波波源推定法の構築	750,000
59	数物・工学	長足 友哉	神戸大学大学院理学研究科惑星学専攻	博士後期課程2年	原始惑星系円盤ダストのサイズ成長に関する実験的研究 -自由落下ダスト流を用いた新手法-	690,000
60	数物・工学	Pranshu Bhatia	創価大学大学院工学研究科環境共生工学専攻	博士後期課程1年	熱加水分解と水蒸気爆砕によるリグノセルロース系バイオマスのメタン発酵前処理の検討	582,884
61	数物・工学	愛甲 将司	大阪大学理学研究科物理学専攻	博士後期課程2年	ヒッグスセクターの構造解明と宇宙バリオン数生成問題	429,399
62	数物・工学	辻倉 景子	山陽小野田市立山口東京理科大学大学院工学研究科工学専攻	修士課程2年	チタン金属表面にアナターゼ型酸化チタンを形成する新規合成方法の開発と水質浄化への応用	50,930
63	数物・工学	坂田 隼矢任	久留米工業大学大学院工学部	修士課程1年	久留米餅 x テクノロジー ~久留米の伝統工芸を影から支える新技術の開発~	68,055
64	数物・工学	前谷 佳奈	愛媛大学大学院理工学研究科数理物質科学専攻地球進化学コース	博士前期課程2年	豊後水道の底入り潮の発生メカニズムの解明	526,900
65	数物・工学	佐山 将太郎	東京工業大学大学院工学部機械系	博士後期課程2年	ホホジロザメを題材としたマイクロ微細構造がマクロ流れに与える影響についての研究	790,000
66	数物・工学	佐久間 東陽	筑波大学大学院システム情報工学研究科社会工学専攻	博士後期課程3年	衛星リモートセンシングによるサトウキビ農地帯からサンゴ礁域への赤土流出モニタリング法の開発	630,000
67	数物・工学	董 然	東京工科大学コンピュータサイエンス学部	教育職員(助手)	人と操り人形のインタラクション:日本の伝統美である序破急と間を用いたロボットモーションデザイン	750,000
68	数物・工学	加藤 哲	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科海洋システム工学専攻	博士前期課程2年	小型自律航行ロボット(ASV)による海洋資源探査 SWARM の牧羊犬制御システムの開発	840,000
69	数物・工学	BETTY LALA	九州大学大学院総合理工学府環境エネルギー工学専攻	博士後期課程3年	インドの酷暑地域における小学校の室内熱環境及び生徒の熱中症リスクの実態解明と緩和策提案	213,000
70	数物・工学	加藤 博久	九州工業大学大学院工学専攻先端機能システム工学領域	博士後期課程3年	1軸制御型セルフベアリングモータを用いた極低温用遠心ポンプの開発	730,000
71	数物・工学	鳥居 翔	東邦大学大学院理学研究科情報科学専攻	博士前期課程1年	CAT(0)空間及びCAT(1)空間における写像と不動点近似列の生成による不動点理論の展開	324,254
72	数物・工学	Dai, Ming-Jyun	広島大学大学院工学研究科	博士後期課程2年	ベリダイナミクスを用いたシェル構造解析に関する研究	490,000
73	化学	風間 裕行	東京工業大学大学院物質理工学院応用化学系原子核工学コース	博士後期課程3年	酸性水溶液系からの予期せぬ無水プロトン付加物生成機構の解明	680,000
74	化学	金 東昱	京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻	博士後期課程3年	両イオン性鎖とイオン性鎖からなるジブロックコポリマーの合成とその複合体形成および刺激応答性	700,000
75	化学	藤木 勝将	大阪大学大学院理学研究科化学専攻(天然物有機化学研究室)	特任助教	有機トリフルオロボレート触媒によるシリル保護マンノースの位置選択的脱シリル化反応の開発	600,000
76	化学	武田 充未	岐阜薬科大学大学院薬学研究科薬科学専攻	博士前期課程2年	可視光とヨウ素の協働作用を利用したカルボニル化合物の直接 α -アミノ化反応の開発	700,000
77	化学	辻 優依	東京大学大学院理学系研究科化学専攻	博士後期課程2年	空間不均一性を排除した高均一ゲルにおける変形時の構造およびダイナミクス	590,000
78	化学	鶴川 幸音	麻布大学大学院獣医学研究科動物応用科学専攻	博士前期課程2年	新規物質 pestalotioquinol A の細胞保護機構の解析と薬剤としての応用に向けた基礎的研究	600,000
79	化学	青木 誠	神戸大学大学院海事科学研究科	助教	海流 MHD 発電中の海水電気分解反応に磁場・流速が及ぼす影響の解明	880,000
80	化学	楊 露	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科創薬科学専攻	博士後期課程3年	広域アジア地域における大気中微小粒子状物質の組成特徴及び健康リスク評価に関する研究	790,000
81	化学	徐 琳琳	大阪大学大学院理学研究科高分子科学	博士後期課程2年	連鎖制御両親媒性高分子の合成と会合挙動	790,000
82	化学	前田 真衣	名古屋工業大学大学院工学研究科生命・応用化学専攻	博士後期課程2年	部分的光可塑性と加熱延伸による高分子フィルムの凹凸構造形成	700,000
83	化学	菊池 友宏	名古屋大学大学院創薬科学研究科基盤創薬学専攻	博士後期課程1年	嵩高い置換基どうしを内側に向ける新奇らせん性環状エキソジエン骨格の合成	790,000
84	化学	和泉 彩香	大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻	博士後期課程3年	熱活性化遅延蛍光および円偏光発光を示す π 共役マクロサイクルの創製	700,000
85	化学	須貝 智也	中央大学理工学部応用化学科	助教	抗腫瘍活性海洋天然物の誘導体合成を指向した効率的全合成研究	329,606
86	化学	工藤 久志	神戸大学人間発達環境学研究科	学術研究員	タイタンの氷地殻環境を模擬したクラスレートハイドレートの生成に伴うメタンの同位体分別の調査	700,000
87	化学	岩本 莉奈	山梨大学大学院医工農学総合教育部生命環境学専攻	修士課程2年	がん免疫療法用免疫チェックポイント阻害への応用を目指した新規 PD-L1・PD-1 相互作用阻害剤の開発	700,000

別表(1) 2020年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
88	化学	遠藤 克己	琉球大学大学院理学部理工学研究科海洋自然科学専攻	博士前期課程2年	アルデヒドの α 位での極性転換を経由する求核的フッ素化剤との不斉フッ素化反応の開発	800,000
89	化学	大曲 仁美	青山学院大学理工学部化学・生命科学科	助教	強発光を示す低融点型ランタニド三元錯体の開発とCPL特性	791,453
90	化学	磯辺 篤	千葉大学大学院融合理工学府先進理化学専攻共生応用化学コース	博士前期課程2年	半導体性超分子ポリマーの電子物性におけるトポロジーの効果	600,000
91	化学	太田 早紀	関西大学大学院理工学研究科総合理工学専攻	博士後期課程2年	液晶性エポキシ樹脂の配列構造と自由体積の相関性の解明—複合材料の高熱伝導化メカニズムの理解—	480,000
92	化学	金 穂香	京都大学大学院理学研究科化学専攻	博士後期課程2年	光受容タンパク質 PYP と下流分子の相互作用に関する分子論的研究:種の違いを超えた新たな分子メカニズム	800,000
93	化学	Wong Kuo Hong	東京大学大気海洋研究所海洋無機化学	特任研究員	海水中の異なる存在状態の銅の植物プランクトンによる取り込み過程の解明	840,000
94	化学	古田 未有	東北大学大学院薬学研究科	助教	連続第四級不斉炭素中心構築法の開発と生物活性ハイブリッド型中分子合成への応用	700,000
95	化学	碓井 瑠智雄	成蹊大学大学院理工学研究科理工学専攻	博士後期課程1年	糖鎖の多様性に準じた結合優位性を有する糖結合タンパク質の同定	453,943
96	化学	小澤 真由	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用生命科学専攻	博士後期課程1年	給餌実験による日本沿岸の二枚貝における新奇下痢性貝毒アザスピロ酸の蓄積および代謝物に関する研究	657,981
97	化学	錦部 健人	大阪市立大学大学院理学研究科物質分子系専攻	博士後期課程2年	海洋汚損生物に対して忌避作用を示す天然物を模倣した、環境にやさしい船底防汚剤の開発	835,440
98	化学	久保田 恒喜	山梨大学大学院医工農学総合教育部工学専攻エネルギー物質科学コース	博士課程3年	ゼオライト系蛍光体の特性評価および発光メカニズム解明	700,000
99	化学	松本 昭源	横浜国立大学大学院環境情報学府人工環境専攻	博士後期課程1年	高速化学気相析出を利用した相分離構造を有する固体イオニクスの創製	600,000
100	化学	浦川 一樹	立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構	研究教員(助教)	非平面型 π 電子系イオンの合成と集合化を基盤とした電子・光機能触媒・材料への展開	-
101	化学	今 利真	北見工業大学大学院工学研究科生産基盤工学専攻	博士後期課程3年	α -ケトアミド類への直接的不斉アルドール反応に有効なトリペプチド触媒の開発	510,000
102	化学	関田 慎也	高知大学大学院総合人間自然科学研究科応用自然科学専攻	博士後期課程2年	高速・高感度細菌検出への利用を指向した蛍光スイッチング型ナノエマルジョンの開発	637,843
103	化学	山田 真希人	大阪大学大学院薬学研究科	博士後期課程2年	連続照射型マイクロ波を用いた環境低負荷型反応の開発と天然由来非天然物創成への応用	800,000
104	化学	新田 菜摘	広島大学大学院理学研究科化学専攻	博士後期課程1年	自己集合カプセルとゲスト分子の分子認識により生じる分岐型超分子ポリマーを利用した新奇機能性材料の開発	600,000
105	化学	瀧本 和誉	愛媛大学大学院理工学研究科環境機能科学専攻分子科学講座	博士後期課程2年	D-アミノ酸の迅速追跡を目指した発光性キラルイリジウム錯体の開発	800,000
106	化学	筒場 豊和	群馬大学大学院理工学府分子科学部門	研究員	反応性バイオベースポリエステルの合成と高分子反応への展開	700,000
107	化学	伊藤 舞夕	神戸大学大学院工学研究科応用化学専攻	博士前期課程2年	有機スズ化合物を用いた可視光レドックス触媒反応の開発	470,000
108	化学	林 周平	近畿大学大学院総合理工学研究科理学専攻	博士前期課程2年	両極合成とチオラートアニオンの反応性に着目した有機イオウ化合物の新規合成法の開発	800,000
109	化学	岡田 隼輔	東京農工大学大学院工学府応用化学専攻	博士後期課程1年	蛋白質フォールディング中間構造に着目したフォールディング促進剤の開発	700,000
110	化学	高木 皇遥	長崎大学大学院工学研究科グリーンシステム創成科学専攻	博士課程5年	可視光応答型アリアルホウ素置換基を有するジピリナトイリジウム(III)錯体の二酸化炭素光還元反応	700,000
111	生物	田中 愛海	東京薬科大学大学院薬学研究科	博士課程1年	3次元ヒト肺組織モデルを用いたインフルエンザ菌の病原性評価系の構築	700,000
112	生物	鶴田 朗人	九州大学薬学研究院薬剤学分野	特任助教	mRNA アセチル化による Wobble 塩基対安定化を介したグリオブラストーマ幹細胞性維持機構の解明	700,000
113	生物	廣瀬 晴香	静岡大学理学部生物科学科	研究補佐員	カライワシ類における肝臓構築の多様性に関する比較分子形態学的研究	770,000
114	生物	宮山 大	東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物科学専攻	博士後期課程1年	昼夜の照度の違いがアカウミガメのプラスチックゴミ誤飲に及ぼす影響の評価	790,000
115	生物	斎藤 貴大	京都大学大学院農学研究科応用生物科学専攻	修士課程2年	我が国の沿岸域に遍在する水産無脊椎動物の体液に住み着く新奇病原菌近縁微生物の生態と生理機能の解明	690,000
116	生物	長澤 竜樹	東京工業大学生命理工学院	助教	孵化腺細胞欠損変異体の遺伝子発現解析:胚葉を越えた機能転移はどのようにして起こったか	800,000

別表（1）2020年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
117	生物	元村 一基	立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構	研究助教	二種類の細胞から構成される花粉細胞を利用した植物の新奇小胞輸送経路の解析	500,000
118	生物	神田 卓弥	宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科獣医学専攻	博士課程4年	Mycoplasma bovis の接着因子が病態に及ぼす影響	578,705
119	生物	小林 記緒	東北大学医学系研究科情報遺伝学分野	助教	ヒト ES 細胞の分化転換による胎盤発生のエピゲノム制御機構	800,000
120	生物	関本 愛香	金沢大学大学院臨海実験施設自然科学研究科自然システム学専攻	博士前期課程2年	クルマエビの外骨格の石灰化に関与する基質ペプチド（CAP-1）の同定と機能解析	690,000
121	生物	今泉 研人	慶應義塾大学医学部生理学教室	特任助教	オルガノイド技術を用いた大脳皮質発生におけるサイズスケール機構の解明	800,000
122	生物	吉川 晟弘	東京大学大気海洋研究所附属国際沿岸海洋研究センター沿岸海洋社会学分野	特任研究員	深海での最適な相利共生戦略の解明：擬貝形成性イソギンチャク-ヤドカリ共生系を用いた検証	510,000
123	生物	山手 佑太	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科環境海洋資源学専攻	博士後期課程1年	ヒョウモンダコが保有する毒の役割と体内配分戦略	740,000
124	生物	谷吉 和貴	京都大学大学院農学研究科農学専攻	博士後期課程1年	イネの水分生理が変動光下の光合成に与える影響	609,672
125	生物	池永 潤平	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	博士課程2年	ヒモムシ類の受精における種認証システムの解明	390,793
126	生物	溝脇 一輝	高知大学大学院総合人間自然科学研究科理学専攻	修士課程2年	インド洋および西部太平洋アシロ属魚類の分類学的研究	0
127	生物	福田 達也	徳島大学大学院医歯薬学研究部薬学域衛生薬学分野	助教	イオントフォレシスを用いた樹状細胞由来エクソソームの皮内送達によるオーダーメイドがん免疫療法の確立	650,000
128	生物	佐々木 由香	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科分子標的医学分野	特任研究員	細胞内へのポリ(ADP-リボース)の集積が誘導する細胞死誘導機序の解析	500,000
129	生物	丹生谷 颯人	九州大学大学院生物資源環境科学府生命機能科学専攻	博士後期課程1年	魚類培養細胞におけるオメガ3高度不飽和脂肪酸の合成経路と生理機能の解明	610,000
130	生物	常岡 明加	群馬大学大学院医学部医学系研究科	博士課程2年	エピジェネティック修飾によるドーパミン経路の制御が肥満や依存症発症に与える影響の解明	800,000
131	生物	柴田 桂太郎	徳島大学大学院医歯薬学研究部医学域先端医学教育研究プロジェクト	助教	磁気ピンセットを用いた細胞内輸送メカニズムの解明	530,000
132	生物	福田 博之	熊本大学大学院医学教育部医学専攻	博士課程4年	ジカウイルスによる宿主 RNA の修飾制御機構とその意義の解明	500,000
133	生物	田尻 晃太	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科	博士前期課程1年	干潟に生息するカニの各種行動に対する抗うつ剤の影響	640,000
134	生物	仲村 康秀	島根大学 エスチュアリー研究センター	特任助教	リザリア類(単細胞動物プランクトン)と端脚類(甲殻類)との共生現象について、その生態学的意義の解明	790,000
135	生物	埴 宗継	山梨大学総合研究部医学域基礎医学系解剖学講座構造生物学教室	特任助教	海中微粒子は潮間帯における平板動物の生態系の代謝に大きく影響するのか？	590,000
136	生物	塩田 拓也	宮崎大学キャリアマネジメント推進機構テニュアトラック推進室	テニュアトラック准教授	グラム陰性菌外膜に存在するβバレル型膜タンパク質輸送ゾーンの形成機構および、その生理的意義の解析	550,000
137	生物	青木 是直	山梨大学ワイン科学研究センター大学院総合研究部	研究員	ブドウ樹内マイクロフローラによるテロワールの形成	530,000
138	生物	Michael Amoa-Bosompem	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医歯学系専攻	博士課程4年	ネッタインマカの Dengue ウイルス感受性・非感受性を左右する遺伝的構造の解明	500,000
139	生物	倉持 昌弘	東京大学	助教	時分割回折 X 線プリッキングによる線虫の不凍タンパク質動態の検出	750,000
140	生物	村上 達郎	京都府立医科大学大学院医学研究科細胞生理学部門	プロジェクト研究員	ATP を神経伝達物質として用いる、新規チャネル型化学シナプスの全身分布の探求	550,000
141	生物	吉竹 悠宇志	明治大学農学部生命科学科	助教	リン酸欠乏時における植物の細胞内リサイクル機構(膜脂質転換とオートファジー)の関係性の解明	500,000
142	生物	久野 友愛	東海大学大学院海洋学研究科海洋学専攻	修士課程2年	紀伊半島沖におけるスズイルカの群れごとの採餌機会による食性の変異	329,663
143	生物	上坂 怜生	東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物科学専攻	博士後期課程2年	海面からどう飛び立つ？海鳥と波浪の関係を新しい波浪観測手法で明らかにする	930,000
144	生物	島田 雄斗	高知大学大学院総合人間自然科学研究科応用自然科学専攻	博士課程2年	原生生物繊毛虫コルポータにおける温度依存性応答機構の解明	550,000

別表（１）２０２０年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
145	生物	根本 和也	東北大学大学院薬学研究科	博士後期課程 1 年	ショウジョウバエの器官運命の転換現象におけるインシュリン様ペプチドの分子機能	700,000
146	生物	安東 丈洋	山梨大学大学院医工農学総合教育部生命環境学専攻	修士課程 2 年	新規小分子結合ペプチドタグの分子進化工学的スクリーニング探索とバイオイメージング及び光遺伝学への応用	700,000
147	生物	清水 啓介	東京大学大学院農学生命科学研究科	特任研究員	異所的に発現する貝殻基質タンパク質による巻貝の幼殻形成制御機構の解明	700,000
148	生物	千葉 暁子	岐阜大学大学院連合獣医学研究科	博士課程 3 年	牛血清骨型アルカリフォスファターゼ分画（ALP3）測定のための改良型アガロース電気泳動法の検証	710,000
149	生物	石崎 隆弘	長崎大学熱帯医学研究所原虫学分野	助教	マラリア原虫のタンパク質小胞輸送先を決定づける原虫側分子の探索	550,000
150	生物	佐藤 真梨萌	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学専攻	博士課程 3 年	低栄養時に生殖機能を抑制する脳内メカニズムの解明	700,000
151	生物	渡邊 菜月	東京大学医学系研究科国際保健学専攻生物医化学教室	特別研究員	小胞輸送におけるレトロマー複合体の機能解析	700,000
152	生物	角谷 美典	奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科バイオサイエンス領域	博士後期課程 3 年	種特異的なサイズを決定する分子機構を明らかにするための新規スクリーニング法の開発と同定	750,000
153	生物	清水 謙次	東京大学定量生命科学研究所	特任助教	免疫抑制受容体 PD-1 は T 細胞集団の抗原応答性をどのように変化させるか	750,000
154	生物	松屋 純人	山口大学大学院共同獣医学研究科	博士後期課程 1 年	ほ乳類品種改良に資する倍数化個体創出の基盤構築：マウス 4 倍体化初期胚の胚発生動態解析	600,000
155	生物	小口 晃平	産業技術総合研究所生物プロセス研究部門	博士研究員	群体性ヒドロ虫：クダクラゲにおける群体組織化機構の解明	710,000
156	生物	近藤 興	東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻生命環境科学系	助教	細胞内配置の意義の解明を目指したオルガネラ磁気操作ツールの開発	510,000
157	生物	玉木 峻	帝京大学理工学部バイオサイエンス学科	博士研究員	微細藻類ユグレナの光走性における眼点の生理的意義の解明	490,666
158	生物	渡辺 駿一	大阪府立大学大学院生命科学研究科獣医学専攻	博士課程 1 年	内臓転移腫瘍に対するサイトカイン遺伝子療法の開発	560,000
159	生物	FERRE PUJOL Pilar	岡山大学生殖補助医療技術教育研究センター	非常勤研究員	革新的な非侵襲的卵子救済方法の確立	442,483
160	生物	面田 彩馨	神戸大学大学院保健学研究科パブリックヘルス領域国際感染症対策分野	博士前期課程 2 年	熱帯熱マラリア原虫・生殖母体の感染赤血球における接着分子の輸送機構の解析	650,000
161	生物	花輪 万智	東邦大学大学院理学研究科生物学専攻	博士前期課程 1 年	伊豆諸島の海鳥の繁殖率・生息海域と餌資源変動の関係—海洋データ同化プロダクト利用によるモデル構築—	790,000
162	生物	黒木 花菓子	東京大学大学院薬学系研究科薬科学専攻	修士課程 2 年	シリア解体と細胞周期再エントリーの相互制御メカニズムの解明	750,000
163	生物	稲辺 宏輔	神戸大学先端バイオ工学研究センター	学術研究員	高活性なシアノバクテリア ATP 合成酵素取得を目指した変異体ライブラリーの構築	610,000
164	生物	井口 聖大	東京大学大学院医学系研究科医科学専攻	修士課程 2 年	Dual-TCR T 細胞の生理学的意義・病理学的役割の解明	790,000
165	生物	菅原 舜介	北里大学大学院海洋生命科学研究科海洋生命科学専攻	修士課程 2 年	マナマコ体腔球の凝集促進因子 AjGBCL の機能解明	588,247
166	生物	藤井 夏鈴	広島大学大学院統合生命科学研究科統合生命科学専攻	博士後期課程 1 年	ミズクラゲの変態における節形成シグナル因子の同定	680,000
167	生物	遅 源	順天堂大学医学部医学研究科生化学・細胞機能制御学講座	博士研究員	上皮細胞傷害におけるロイコトリエン B4 第二受容体の役割	550,000
168	生物	山下 映	総合研究大学院大学生命科学研究科基礎生物学専攻	博士課程 5 年	RNA 結合タンパク質 NFAR2 の液-液相分離を介した学習・記憶制御メカニズムの解明	600,000
169	生物	結川 達也	埼玉大学大学院理工学研究科生命科学系専攻	博士後期課程 3 年	脊椎動物胚での脊髄原基の後方伸長における Oct4 型転写因子 Pou5f3 の役割	740,000
170	生物	今泉 健太郎	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用生命科学専攻	博士後期課程 2 年	クルマエビ類における囲食膜に関する研究とそれを利用した感染症防除法の研究	690,000
171	生物	若山 大介	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科海洋生命資源科学専攻	博士前期課程 2 年	生殖腺刺激ホルモン受容体の免疫化によるニジマスの性成熟阻害	940,000
172	生物	田井 優貴	東京理科大学大学院薬学研究科薬科学専攻	博士後期課程 1 年	新たなアレルギー性疾患の治療法確立に向けた IgE 産生制御機構の解明	700,000

別表(1) 2020年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
173	生物	剣持 瑛行	東海大学大学院生物科学研究科生物科学専攻	博士課程1年	海洋生態系における海産枝角類の生態的役割の解明—沖合域に分布する個体群に着目して	580,000
174	生物	谷口 碧	広島大学大学院統合生命科学研究科統合生命科学専攻	修士課程1年	夏眠前の餌料環境の良否によるイカナゴの被食リスクへの影響評価	340,000
175	生物	山田 泰智	大阪市立大学大学院理学研究科生物地球系専攻	博士前期課程2年	ハゼとエビの相利共生における「給餌共生」仮説の検証: 摂餌生態の異なるハゼ2種の行動の比較から	850,000
176	生物	飯野 史織	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	博士課程2年	ミツバチとマルハナバチの採餌行動時に働く脳分子神経機構の比較解析	746,688
177	生物	河原 あい	熊本県立大学大学院環境共生学研究科環境共生学専攻	博士後期課程2年	発酵食品の新たな機能性や保存性を解明する: 乳酸菌の抗菌物質生産機構からのアプローチ	700,000
178	生物	義江 健吾	京都大学大学院農学研究科応用生物科学専攻	修士課程2年	飼育条件が人工、天然イセエビの放流後の行動に与える影響と放流後の定着場所の解明	840,000
179	生物	菊樂 香奈	島根大学大学院自然科学研究科農生命科学専攻	博士前期課程2年	植物の環境順応における「活性酸素パラドクス」を紐解くトランスクリプトーム解析	780,000
180	生物	田中 泰裕	島根大学大学院自然科学研究科農生命科学専攻	博士前期課程2年	植物アスコルビン酸輸送体の同定と機能解析	700,000
181	生物	森下 雅大	埼玉大学大学院理工学研究科生命科学系専攻	博士後期課程3年	雄マウスに特有な神経回路の形成機構と生理機能の解明	760,000
182	生物	宇江城 蘭	琉球大学大学院理工学研究科海洋自然科学専攻	博士前期課程2年	オキナワモズクの養殖業発展に向けた共存細菌群の解析	570,000
183	生物	Yassien Ahmed Yassien Badr	岐阜大学岐阜大学応用生物科学部	研究助手	新しい診断技術開発による海洋哺乳類パラボックスウイルス感染症の疫学調査	640,000
184	生物	能瀬 晴菜	北海道大学大学院農学院環境資源学専攻	修士課程2年	北海道および青森県北部に生息するイワハムシ類の分類学的再検討	630,000
185	生物	上野 弘人	九州大学大学院地球社会統合科学府地球社会統合科学専攻	博士後期課程2年	海洋での海浜性昆虫の“浮遊分散”による分布拡大仮説の提唱および検証	890,000
186	生物	木村 和人	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科獣医学専攻	博士課程1年	輸血製剤の開発へ向けた血液細胞からのiPS細胞株の樹立および赤血球への分化誘導	650,000
187	生物	永田 博基	横浜国立大学大学院本原生物学研究所植物エビゲノム科学部門	博士後期課程2年	イネ胚乳発生の多核体-細胞化の移行におけるエピジェネティックな制御機構の解明	640,000
188	生物	Md. Matiur Rahman	岐阜大学大学院連合獣医学研究科食品環境衛生学研究室	博士課程3年	牛乳細胞外小胞を用いた牛白血病の新しいモニタリング法の開発	800,000
189	生物	押切 春佳	信州大学大学院総合医理工学研究科総合理工学専攻	博士課程1年	アシル基転移酵素の分子進化からみるシコニン・アルカニン類縁体多様化メカニズム	800,000
190	生物	小泉 慶次朗	京都大学大学院情報学研究科生物圏情報学	修士課程2年	ジュゴンの個体群における鳴音パターンの地域間比較	658,554
191	生物	波々伯部 夏美	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	博士課程1年	紐形動物における骨片形成過程の解明	750,000
192	生物	芦田 泉香子	高知大学大学院総合人間自然科学研究科理学専攻理学コース生物科学分野	修士課程2年	アカウミガメ孵化幼体のフレンジー期の代謝に関する生理学的研究	740,000
193	生物	小出 佑紀	広島大学大学院生物圏科学研究科	博士後期課程3年	広大な生活空間を維持するクロハコフグの実態—採餌場・産卵場・睡眠場の使い分けと配偶システム—	460,000
194	生物	羽原 誠	山口大学共同獣医学部	助教(特命)	ER陽性乳がんにおけるプロリン異性化酵素の意義と治療標的としての可能性	500,000
195	生物	川西 亮太	北海道大学大学院地球環境科学研究院	特任助教	太平洋におけるトビウオ寄生性等脚類の多様性と共進化の解明	920,000
196	生物	萩原 翠唯那	東京都立大学大学院理学研究科生命科学専攻	博士前期課程2年	昆虫が飛ぶために必要な遺伝子: キイロシヨウジョウバエを用いたResilin遺伝子の機能解析	531,586
197	生物	高島 友弥	東京農業大学大学院農学研究科バイオサイエンス専攻	博士後期課程3年	体外培養モデルを用いた卵子発生能獲得メカニズムの解明	679,894
198	生物	藤田 智史	国立遺伝学研究所	特任研究員	植物における仕切りのない細胞外空間の区画化を可能にする分子機構	740,000
199	生物	藤川 昂	宮崎大学大学院農工学総合研究科	博士課程2年	発電菌におけるCRISPR/Casを用いたゲノム編集技術の確立	700,000
200	生物	永井 友朗	福島県立医科大学医学部生化学講座	助教	細胞のcollective invasionにおけるintermediate EMTの重要性	780,000
201	生物	瀬沼 和香奈	高知大学大学院総合人間自然科学研究科農学専攻	修士課程2年	クオラムセンシング誘導2次代謝物質を介した病原性に必要な青枯病菌細胞間シグナル伝達系の解明	600,000
202	生物	三藤 清香	奈良女子大学大学院人間文化総合科学研究科自然科学専攻	博士後期課程1年	囊舌目ウミウシの行う吐き戻し行動の適応的意義と藻類の進化への影響	344,324

別表（１）２０２０年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
203	生物	古賀 碧	崇城大学大学院生物生命学部応用生命科学専攻	博士後期課程 2年	海産性光合成細菌のクルマエビ養殖における病害抑制・成長促進効果の研究	560,000
204	生物	西 航司	酪農学園大学大学院獣医学専攻獣医学研究科	博士課程 4年	マイコプラズマのウシ関節内における巧みな免疫回避能力とその発現調節機構	580,000
205	生物	千葉 拓也	北海道大学大学院生命科学院	博士後期課程 1年	静電場に応答した <i>Caenorhabditis elegans</i> 耐性幼虫の跳躍機構の解明	780,000
206	生物	参輪 佳奈	筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻	博士前期課程 2年	日本の汽水域・海岸におけるコウマクノウキン類の探索と系統分類学的研究	730,000
207	生物	佐藤 楽生	東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物科学専攻	博士課程 1年	魚類寄生虫はどうやって宿主を認識しているのか？ －魚類寄生虫の発現遺伝子に注目した分子生物学的研究－	720,690
208	生物	松田 悠平	長崎大学大学院水産環境科学総合研究科	博士前期課程 2年	ノコギリモクの放卵周期の解明	630,000
209	生物	古巻 史穂	北海道大学大学院環境科学院生物圏科学専攻水圏生物学コース	博士前期課程 2年	北海道周辺海域におけるナガスクジラの分布と餌生物環境の関係	510,000
210	生物	山本 薫	横須賀市自然・人文博物館	学芸員	ハマダンゴムシにみられる色斑多型の機能と維持機構	790,000
211	生物	池田 龍之介	北海道大学大学院水産科学院海洋生物資源科学科	修士課程 2年	ステレオ画像計測による魚体長計測手法の構築を目的とした、バイオロギングによる養殖マダイの行動計測	150,869
212	生物	喜納 泰斗	日本大学大学院生物資源科学研究科応用生命科学専攻	博士後期課程 2年	板鰓類における子宮乳の機能および泌乳機構の解明	690,000
213	生物	市川 明日香	岡山理科大学大学院理学研究科臨床生命科学専攻	修士課程 2年	甘味スイッチの発見 ～味覚変換タンパク質「ミラクリン」の立体構造解析～	750,000
214	生物	上仲 恵美	北海道大学大学院農学院	博士後期課程 2年	E3 ユビキチンリガーゼの過剰発現が筋原線維のミオン分子の置換に及ぼす影響の検討	510,000
215	生物	市川 麗子	神奈川大学大学院理学研究科理学専攻	博士後期課程 2年	イモリ幼生の外鰓における形態形成機構の解明	502,459
216	生物	梅木 雅美	広島大学大学院統合生命科学研究科統合生命科学専攻	博士前期課程 2年	サンゴとシャコガイ類の共生関係に関する研究	440,000
217	生物	水野 史博	筑波大学大学院地球進化科学専攻	博士後期課程 3年	古鯨類の陸棲非適応度の推定と後肢機能の変遷の解明	280,924
218	生物	釜阪 紘平	京都大学大学院農学研究科応用生命科学専攻	博士後期課程 2年	回遊魚類腸管由来細菌による膜小胞を介した新奇選択的タンパク質分泌機構の解明と応用	800,000
219	生物	辻 冴月	山口大学大学院創成科学研究科	学術研究員	複数種の分布と遺伝集団構造の同時解析：環境 DNA を用いた効率的解析法の開発と系統地理学への適用	650,000
220	生物	小林 優介	茨城大学理工学研究科理学野	助教	非光合成真核細胞による細胞内農業：共生藻への肥料供給に注目した研究	800,000
221	生物	千葉 駿	鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科農学専攻	博士前期課程 1年	鳥取砂丘に出現するカエル類が海浜性昆虫類に与える影響について～蛙糞と胃内容物の分析によるアプローチ～	390,000
222	生物	水野 佳緒里	京都大学アフリカ地域研究資料センター	特定研究員	発声可塑性を持つアジアゾウにおける鼻息の強さの調整能力	790,000
223	生物	野間 明加里	岐阜大学大学院自然科学技術研究科生物生産環境科学専攻	修士課程 1年	生息調査と行動調査による淡水生カメ類の包括的な生息環境の解明	648,000
224	生物	植松 康成	横浜国立大学大学院環境情報学府自然環境専攻生態学プログラム	博士後期課程 2年	サクラマスにおける好適種苗の選別方法と評価手法の開発	316,649
225	生物	吉野 広軌	東京大学農学生命科学研究科	特定研究員	陸上ワラジムシ亜目の分泌する性フェロモンの探索と種間の性フェロモンの差異の解析	144,305
226	生物	SOONG GIUN YEE	琉球大学大学院理工学研究科海洋環境学専攻	博士後期課程 3年	アデヤカイロウミウシ属の系統分類および生態に関する研究	650,000
227	生物	小林 卓也	森林総合研究所林業研究部門森林植生研究領域	特別研究員	枯死材性昆虫の多様性維持における木材腐朽菌の役割：野外操作実験による検証	700,000
228	生物	竹内 久登	愛媛大学南予水産研究センター	特定研究員	病原体感染が魚類の生体物質放出に及ぼす影響の解明	740,000
229	生物	上木 岳	信州大学大学院総合医理工学研究科総合理工学専攻	博士後期課程 1年	4者共生関係をもつクワガタムシ類から紐解く森林共生系による多様性の創出・維持機構	800,000
230	生物	水野 歩	北海道大学大学院生命科学院	博士後期課程 1年	カエデチョウ科鳥類の食性進化に関わる視覚特性の解明	750,000
231	生物	木村 彰宏	岩手大学大学院連合農学研究科地域環境創生学専攻（配属：弘前大学）	博士課程 2年	温帯林における氷期後の二次的接触がもたらす多様な進化現象の解明：寒冷地と温暖地の比較	740,000
232	生物	伊藤 海	鶴見大学歯学部	非常勤講師	食肉類の吻部形態と咬合力の比較機能形態学的関係について	700,000

別表（1）2020年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
233	生物	三上 莉穂	埼玉工業大学大学院工学研究科生命環境化学専攻	博士前期課程2年	花の色と香りに関わる遺伝子における機能多面性の解析	800,000
234	生物	清家 多慧	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻動物学教室	博士後期課程2年	同所的に生息するオナガザル属2種の種間関係から、異種の共存機構を探索	-
235	生物	森 千紘	帝京大学薬学部薬学科	助教	同地域に生息する鳴禽類の近縁2種における呼び合い音声の比較研究	680,000
236	生物	栗山 和典	東京農工大学大学院連合農学研究科生物生産科学専攻	博士課程1年	2色咲き品種の花弁組織における自然発生RNA干渉の空間的・時間的制御機構の解明	520,000
237	生物	丸山 迪代	名古屋大学大学院生命農学研究科動物科学専攻	博士後期課程2年	動物が温度から季節を読み取るしくみの解明	700,000
238	生物	鎌田 一徹	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻	博士後期課程1年	オオバギの送粉生態：花序で繁殖する2種のカメムシの関係	450,000
239	生物	内田 健太郎	東京都立大学大学院理学研究科生命科学専攻	修士課程2年	伊勢湾台風による大規模撓乱後に更新した北八ヶ岳のモミ林の成長動態と空間構造の解析	256,936
240	生物	水口 木綿花	同志社大学大学院生命医科学研究科医工学・医情報学専攻医情報学コース	博士前期課程2年	野生のコウモリの採餌行動から見る最適採餌理論のモデル構築	650,000
241	生物	上森 教慈	九州大学大学院生物資源環境科学府環境農学専攻森林環境科学コース	修士課程2年	九州の森林における標高傾度に基づいた有剣ハチ類の遺伝的多様性の変化	590,000
242	生物	甲斐 龍之介	弘前大学大学院農学生命科学研究科	修士課程2年	白神山地に生息する陸生プラナリアの分類と記載：本州最後の秘境に潜む未記載種を追う	700,000
243	生物	竹重 志織	放送大学大学院文化科学研究科文化科学専攻	修士課程2年	都市環境における人間活動と土地利用が水鳥の移動に与える影響評価	370,000
244	生物	大塚 公貴	横浜国立大学大学院環境情報学府自然環境専攻	博士前期課程2年	枝と生葉が林床の枯死葉分解に与える影響	710,000
245	生物	豊田 有	中部大学創発学術院	研究員	ベニガオザルの連合形成機構の解明：協力行動の進化基盤の探索	722,359
246	生物	角田 智詞	京都大学フィールド科学教育研究センター芦生研究林	研究員・教務補佐員	作物の網羅的代謝産物評価と節足動物との関係から迫るSDGs達成に向けた農地管理	750,000
247	生物	中曽根 大輝	山形大学大学院理工学研究科理学専攻	博士前期課程2年	植食性甲虫の寄主選択に作用する条件付けの度合いに寄主の存在量に応じた集団間変異は存在するか？	330,464
248	生物	久末 遊	九州大学大学院生物資源環境科学府資源生物科学専攻	博士後期課程1年	カブトバチ亜科の生活史とその特異な形態の適応的意義の解明	800,000
249	生物	山崎 由理	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻	修士課程2年	黒潮が運ぶ海流散布植物ハマボウの集団間のコネクティブティの多面的解析	530,000
250	生物	佐々木 未悠	弘前大学大学院農学生命科学研究科農学生命科学専攻生物学コース	修士課程2年	樹洞営巣性鳥類の営巣環境競争における闘争行動への渡り性の影響の検証	790,000
251	生物	土山 紘平	筑波大学大学院生命環境科学研究科持続環境学専攻	博士後期課程2年	鉱山跡地に自生する遷移後期種アオキの重金属耐性機構および内生菌の新規機能の解明	690,000
252	生物	井出 寛人	早稲田大学大学院先進理工学研究科生命医科学専攻	博士前期課程2年	難培養微生物の増殖を制御する異種細胞間コミュニケーションの解明	602,985
253	生物	Aye Ko Ko	京都大学大学院農学研究科森林科学専攻	修士課程1年	ミャンマー産チークの年輪気候学的研究	-
254	生物	伊崎 実那	兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科	博士後期課程1年	市民科学はコウノトリを保全できるか？-利用目的別のハビタット解明と持続可能な市民調査へ向けて-	610,000
255	生物	福谷 和美	京都大学大学院人間・環境学研究科相関環境学専攻自然環境動態論講座	博士後期課程2年	日本産ヒキガエル属における交雑帯を介した種分化機構と遺伝的多様性形成機構の解明	630,000
256	生物	井上 翔太	九州大学大学院生物資源環境科学府資源生物科学専攻昆虫学分野	博士後期課程1年	アリヅカムシ亜科がもつ小顎肢の機能解明	694,715
257	生物	佐藤 初	広島大学大学院統合生命科学研究科生物資源科学専攻	博士前期課程1年	掃除魚に擬態するニセクロスジギンボの繁殖生態と擬態機能解明	700,000
258	生物	板垣 ひより	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	博士後期課程1年	子囊菌門ピョウタケ目Pyrenopeziza protrusaの感染時の動態と共生機能の解明	264,773
259	生物	平野 侑	東京農業大学大学院農学研究科林学専攻森林生態学研究室	博士前期課程2年	リン欠乏に対する熱帯樹木根系の適応機構：細根由来のリン酸分解酵素活性の多樹種間比較	640,000
260	生物	伊藤 愛	岐阜大学大学院自然科学技術研究科生物生産環境科学専攻	修士課程2年	空中花粉のメタゲノム解析における定量性の検討と時空間変動の解析	266,661
261	生物	井上 香鈴	東京大学大学院大気海洋研究所理学系研究科生物科学専攻	修士課程2年	オカミミガイ科腹足類における発生様式の変化と陸上進出史の解明	580,000

別表(1) 2020年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表(学術研究)

(単位:円)

No.	対象領域	助成者名	所属機関:名称	所属機関:職名	研究課題	確定助成金額
262	生物	福田 彩華	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	修士課程2年	脳下垂体自体の光受容を介した体色変化の新規経路の解析	590,000
263	生物	叶 彬	東北大学大学院生命科学研究所生態発生適応科学専攻	博士後期課程3年	人間活動が東アジアにおけるゲジ科動物の分散に与えた影響	544,278
264	生物	谷中 稔侑	千葉大学大学院園芸学研究所環境園芸学専攻	修士課程2年	他種の作ったゴールを再利用するヤドカリタマバエの寄主範囲と関わる共生菌の役割に関する研究	650,000
265	複合	石村 大輔	東京都立大学都市環境学部地理環境学科	助教	下北半島北部, 津軽海峡に面した低地における最近6000年間の津波堆積物の認定とその波源推定	700,000
266	複合	張 露露	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科創薬科学専攻	博士後期課程3年	海洋由来ジメチルスルフィド共存下における越境輸送多環芳香族炭化水素と黄砂との相互作用に関する研究	750,000
267	複合	吉原 利典	順天堂大学スポーツ健康科学部	助教	速筋線維特異的な筋萎縮メカニズムを司るアンジオテンシン受容体制御機構の解明	600,000
268	複合	鈴木 里奈	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科政策・メディア専攻	修士課程2年	脳-身体システムと環境のインタラクションによる柔軟な運動制御を「皮質-筋コヒーレンス」から解明する	750,000
269	複合	北川 智規	同志社大学大学院生命医科学研究科医工学専攻	博士前期課程2年	DNA 高次構造制御に基づく遺伝子活性の促進と抑制	639,060
270	複合	LEE KANG	東京学芸大学教育学部自然科学系文化財科学分野	個人研究員	酸性紙図書の長期保存技術の確立:紙の自然劣化を正確に予測できる新規加速劣化試験法の提案	700,000
271	複合	黒田 真帆	同志社大学大学院生命医科学研究科医工学・医情報学専攻医工学コース	博士前期課程1年	大小粒子集団が創成する動的空間秩序:細胞の自律的構造形成のモデリング	750,000
272	複合	青木 孝文	川崎医療福祉大学大学院医療技術学研究所健康科学専攻	博士後期課程3年	腸内細菌叢と骨格筋のクロストーク~食物繊維摂取と運動は短鎖脂肪酸産生変化を介し、骨格筋に影響するか~	567,534
273	複合	中村 亮裕	埼玉大学大学院理工学研究科生命科学系専攻	博士後期課程2年	最小限の要素から構成される鉄硫黄クラスター生合成システムの構造生物学	600,000
274	複合	立石 泰寛	慶應義塾大学大学院薬学研究科薬科学専攻	博士後期課程3年	医薬品の代謝活性化に関する化学的研究と創薬への応用-抗炎症薬ジクロフェナクにおけるケーススタディ-	750,000
275	複合	高田 春風	徳島大学大学院薬学教育部薬学専攻	博士課程1年	遺伝子治療用核酸搭載リポソームの投与が全身性エリテマトーデスの発症・増悪に与える影響に関する研究	700,000
276	複合	工藤 光平	東京農業大学農学部バイオセラピー学科	助教	形態学的、力学的、行動学的実験手法を用いたイエネコの手根球の機能解明:形質-育種観理論の展開に向けて	611,765
277	複合	奥村 翔太	京都大学大学院理学研究科	博士後期課程1年	石基輝石結晶のナノスケール分析から探る、火道浅部環境と噴火様式の関連性	700,000
278	複合	高橋 謙也	東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻	博士課程3年	不活動および筋損傷に対する乳酸摂取効果の検討-骨格筋ミトコンドリアに着目して-	700,000
279	複合	千葉 友樹	千葉県立中央博物館	研究員	堆積物中の貝殻を用いて外来肉食性巻貝による水産有用二枚貝の食害を解明する	829,469
280	複合	棗 寿喜	順天堂大学スポーツ健康医科学研究科	特任助教	運動によって分泌されるポリペプチドはサルコペニアを抑制するか?	600,000
281	複合	塚本 敬太	山梨大学大学院医工農学総合教育部生命環境学専攻	博士前期課程2年	自己免疫疾患治療薬の開発に向けた TNF α /TNFR 間相互作用を阻害する新規化合物のスクリーニング探索	750,000
282	複合	山田 圭太郎	立命館大学総合科学技術研究機構	専門研究員	現生花粉の安定同位体比の気象に対する応答の定量化-化石花粉の安定同位体比による古気候復元に向けて-	700,000
283	複合	関 有沙	信州大学理学部	博士研究員	第四紀日本海の溶存酸素濃度の変動復元~海洋の酸素濃度変動要因の解明に向けて~	540,000
284	複合	飯塚 睦	北海道大学大学院環境科学院地球圏科学専攻生物地球化学コース	博士課程1年	過去の温暖期(最終間氷期)における海洋と南極氷床全体の変動の関連解明	890,000
285	複合	雪岡 聖	京都大学大学院地球環境学堂	研究員	マイクロプラスチックの劣化指標の開発および海洋環境試料への適用	640,000
286	複合	池上 森	北海道大学大学院理学院自然史科学専攻地球惑星システム科学講座	博士後期課程1年	イカ類の爆発的多様化と進化史解明:隠された化石記録を全自動で抽出する	700,000
287	複合	岸本 優輝	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科水産学専攻	博士前期課程1年	水温ローガーを用いたマツカワ雌親魚の産卵期に出現する特異的な水温変化の周期性および発生要因の解明	640,000
288	複合	清水 大地	東京大学大学院教育学研究科総合教育科学科教育心理学コース	特任助教	ブレイクダンスにおける文化発展を促す可視化システムの開発:表現の独創性と情動状態に着目したアプローチ	700,000

別表（１）２０２０年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（学術研究）

（単位：円）

No.	対象領域	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
289	複合	梁瀬 真優花	東京大学大学院農学生命科学研究科農学国際専攻国際情報農学研究室	修士課程 2年	ケニアにおける葉菜類の物流チャネルと温湿度管理の改善による農家収入向上の可能性	619,338
290	複合	田淵 絢香	電気通信大学大学院情報理工学研究科基盤理工学専攻	博士後期課程 1年	骨格筋の適応を決定する細胞内カルシウムイオンの変動パターンの解明	600,000
291	複合	安カ川 真美	群馬大学大学院理工学府物質・生命理工学領域	博士後期課程 3年	レシオ型酸素プローブを用いた3次元培養スフェロイドの酸素濃度勾配イメージング	700,000
292	複合	倉田 祐輔	信州大学大学院総合理工学研究科農学専攻	修士課程 2年	中山間地域における新規農業企業の持続的参入要因と地域社会への影響—長野県伊那市長谷地区を事例として—	220,296
293	複合	留目 諒	北海道大学大学院水産科学院海洋生物資源科学専攻	博士前期課程 2年	シミュレーションによるアミノコギリガザミ種苗生産水槽の流場改善に関する研究	630,000
294	複合	土田 真愛	愛媛大学大学院理工学研究科先端科学特別コース	博士後期課程 3年	プレート沈み込み帯に関する数値流体力学的研究：浅部地殻活動から深部プレート挙動までの整合的理解へ	340,197
295	複合	林 唯奈	電気通信大学大学院情報理工学研究科基盤理工学専攻	博士前期課程 2年	哺乳類初の発光酵素の探索	750,000
296	複合	川平 直史	理化学研究所 生命機能科学研究センター発生幾何研究チーム	研究員	立体的な組織内の細胞動態を解析するための理論構築と、頭部の形態形成を引き起こす細胞動態の同定	750,000
297	複合	中山 絵美子	東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻	修士課程 2年	超音波画像装置を用いた寝たきり高齢者の尿路感染症の早期発見方法の開発	700,000
298	複合	平川 尚毅	横浜国立大学大学院理工学府化学・生命系理工学専攻	博士後期課程 3年	初期太陽系における鉱物と有機物の相互作用の解明～原始太陽系円盤から隕石母天体へ～	650,000
299	複合	霜山 竣	福島大学大学院共生システム理工学研究科共生システム理工学専攻	修士課程 2年	地下空間貯留水の持続的冷熱源利用の実現に向けた熱物性推定手法の開発	700,000
300	複合	亀井 碧	和歌山大学大学院システム工学研究科システム工学専攻	博士後期課程 1年	地域性種苗を活用した沿岸域の草地再生の技術開発	580,000
301	複合	長澤 真	東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻	博士前期課程 2年	分子地球化学的アプローチによる希土類元素濃集現象の包括的理解	707,857
302	複合	小川 昂輝	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	博士課程 4年	超音波応答性 DDS による遺伝子導入システムを利用したパーキンソン病に対する再生治療の開発	750,000
303	複合	ZHOU YI	大阪大学医学系研究科・情報統合医学講座・医学統計学	特任准教	総合統計プラットフォーム MEPHAS の更新及び改良	524,061
304	複合	奈良 佳樹	電気通信大学大学院情報理工学研究科基盤理工学専攻	博士前期課程 1年	細胞張力の三次元可視化のための生体適合性メカノハイドロゲル光ファイバーシートの開発	700,000
305	複合	須藤 百香	秋田県立大学大学院システム科学技術研究科経営システム工学専攻	博士前期課程 2年	LC/IRMS における日本酒中の個別成分の炭素安定同位体比分析法の開発と異同識別	650,000
306	複合	土元 翔平	生理学研究所システム脳科学研究領域	特任研究員	ロボット移乗介護機器使用にともなう身体的・心理的負荷軽減シーンを同定するための動線解析システムの開発	650,000
307	複合	春井 彩花	神戸女子大学大学院家政学研究科食物栄養学専攻	博士前期課程 2年	昆布摂取による高血圧予防機序における腸内細菌叢の役割	660,000
308	複合	松田 紀美	大阪市立大学都市研究プラザ	特別研究員	子どもをもつ母子世帯出身者の現在の食行動・食意識および子どもへの働きかけ	649,000
						187,238,396

別表（２）２０２０年度笹川科学研究助成助成対象者一覧表（実践研究）

（単位：円）

No.	助成者名	対象領域	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題	確定助成金額
1	武内 文治	教育・NPO 職員等	奥四万十山の暮らし調査団	代表	住民による小地名の記録と地域資源地図づくり（民衆 知の記憶を公共財としての記録へ）	380,000
2	川見 昌春	教育・NPO 職員等	松江工業高等専門学校実践教育支 援センター	技術長	I o Tと近距離無線通信を活用した認知症徘徊者探索 支援システムの構築－通信方式改善による探索範囲広 域化	300,000
3	吉富 容	教育・NPO 職員等	一般社団法人 BC-ROBOP 海岸工 学会	事務局理事	人間とロボットが協力して「海ごみ清掃作業」を行い 「きれいな海を守る」活動地域づくりを行う。	380,000
4	鈴木 雅義	教育・NPO 職員等	静岡大学教育学部附属特別支援学 校	教諭	発達障害でミソフォニア症状を有する特別支援学校高 等部生徒のキャリア発達を促す包括的支援方法の開発	299,229
5	鈴木 健一	教育・NPO 職員等	板橋区立高島第三小学校	主幹教諭	体育科における言語活動の充実と動きの変容との関係	350,000
6	加藤 圭太	教育・NPO 職員等	愛知県立旭陵高等学校	教諭	通信制高校における ICT を活用した協働学習－総合 的な探究の時間でのプロジェクト学習の実践－	189,248
7	葉山 靖明	教育・NPO 職員等	NPO 法人学びあい	副理事長	バングラデシュにおける協働講義による障がい者の命 と役割の再獲得プロジェクト	-
8	鄭 尚海	教育・NPO 職員等	社会福祉法人青山里会	ソーシャルワ ーカー	特別養護老人ホームにおける認知症高齢者のストレン グス（強み）の活用に関する研究	310,000
9	伴 和幸	学芸員・司 書等	盛岡市動物公園	飼育員	動物福祉と獣害問題を考える教育イベントの開発：駆 除された野生動物を動物園で屠体給餌する実践マニュ アル	360,000
10	鈴木 あすみ	学芸員・司 書等	北海道博物館研究部博物館研究グ ループ	学芸員	博物館と地域の連携による鳥類標本データベース構築 -未利用個体の活用に向けたモデルづくり-	188,586
11	石井 陽子	学芸員・司 書等	大阪市立自然史博物館学芸課	主任学芸員	視覚障がい者の博物館での学びに必要な情報とはなに か 自然史博物館を身体で楽しむ方法の提案	370,000
12	横山 操	学芸員・司 書等	京都大学総合博物館	研究員	奈良県五條市賀名生・堀家伝来・日の丸紋の旗－学術 調査を踏まえた保存と活用－	360,000
13	福武 亨	学芸員・司 書等	愛知医科大学看護学部総務課	主事	小酒井不木作品における引用分析と引用情報データ ベース構築	255,555
14	市川 寛也	教育・NPO 職員等	群馬大学教育学部	准教授	生活空間と共存する文化財の創造的活用モデルの構築 －アートベース・リサーチの手法を踏まえて	380,000
15	倉知 桂子	学芸員・司 書等	同志社大学人文科学研究所	嘱託研究員	近代蚕業史アーカイブ・モデルの構築 ー蚕業関連資 料の保存と活用ー	360,000
						4,482,618

別表（3）2020年度海外発表促進助成助成対象者一覧表

（単位：円）

No.	助成者名	所属機関：名称	所属機関：職名	集会名称	発表題目	確定額
1	和田 恵梨	群馬大学大学院生体調節研究所代謝シグナル解析分野	博士課程3年	the American Diabetes Association's 80th Scientific Sessions	Dysfunction of BCAA catabolism in pancreatic alpha cells is associated with higher glucagon secretion in diabetic mice.	20,242
2	畠山 航平	広島大学大学院先進理工系科学研究科地球惑星システム学プログラム	研究員	AGU Fall Meeting 2020	Porosity and serpentinization inferred from laboratory experiments and geophysical data of incoming oceanic plate at the outer-rise region	30,947
3	宋 苑瑞	早稲田大学教育学部	非常勤講師	American Geophysical Union (AGU)	Remote teaching/learning experience in Japanese Universities.	35,000
						86,189

別表（４）２０２０年度笹川科学研究助成奨励賞受賞者一覧表

No.	研究領域	助成者名	性別	国籍	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題
1	人文・社会	浅田 直規	男	日本	筑波大学大学院人文社会科学研究所国際公共政策専攻	博士後期課程 2年	児童福祉における「家族」の成立に関する人類学的研究—ルーマニアの里親制度を事例に—
2	人文・社会	ケイ 光大	男	中国	慶應義塾大学大学院社会学研究科	博士後期課程 3年	宗教と近代体制との相互協調性の比較研究：台湾の「釈教」と中国広東省の「香花派」の事例から
3	数物・工学	中村 紗都子	女	日本	名古屋大学宇宙地球環境研究所	特任助教	激甚宇宙天気災害時における地磁気誘導電流の日本電力供給へのリスク評価
4	数物・工学	吉田 圭介	男	日本	立命館大学大学院理工学研究科基礎理工学専攻物理科学コース	博士前期課程 2年	スナップフィットのメカニクス：弾性、かたち、摩擦が生み出す非接着的かつ分離可能な接合機構
5	化学	藤木 勝将	男	日本	大阪大学大学院理学研究科化学専攻（天然物有機化学研究室）	特任助教	有機トリフルオロポレート触媒によるシリル保護マンノースの位置選択的脱シリル化反応の開発
6	化学	太田 早紀	女	日本	関西大学大学院理工学研究科総合理工学専攻	博士後期課程 2年	液晶性エポキシ樹脂の配列構造と自由体積の相関性の解明—複合材料の高熱伝導化メカニズムの理解—
7	生物	長澤 竜樹	男	日本	東京工業大学生命理工学院	助教	孵化腺細胞欠損変異体の遺伝子発現解析：胚葉を越えた機能転移はどのようにして起こったか
8	生物	吉竹 悠宇志	男	日本	明治大学農学部生命科学科	助教	リン酸欠乏時における植物の細胞内リサイクル機構（膜脂質転換とオートファジー）の関係性の解明
9	生物	佐藤 初	男	日本	広島大学大学院統合生命科学研究所生物資源科学専攻	博士前期課程 1年	掃除魚に擬態するニセクロシジギンボの繁殖生態と擬態機能解明
10	生物	豊田 有	男	日本	中部大学創発学術院	研究員	ベニガオザルの連合形成機構の解明：協力行動の進化基盤の探索
11	複合	鈴木 里奈	女	日本	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科政策・メディア専攻	修士課程2年	脳-身体システムと環境のインタラクションによる柔軟な運動制御を「皮質-筋コヒーレンス」から解明する
12	複合	張 露露	女	中国	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科創薬科学専攻	博士後期課程 3年	海洋由来ジメチルスルフィド共存下における越境輸送多環芳香族炭化水素と黄砂との相互作用に関する研究
13	海洋関連研究	池永 潤平	男	日本	東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻	博士課程2年	ヒモムシ類の受精における種認証システムの解明
14	海洋関連研究	川西 亮太	男	日本	北海道大学大学院地球環境科学研究院	特任助教	太平洋におけるトビウオ寄生性等脚類の多様性と共進化の解明
15	実践	武内 文治	男	日本	奥四万十山の暮らし調査団	代表	住民による小地名の記録と地域資源地図づくり（民衆知の記憶を公共財としての記録へ）
16	実践	倉知 桂子	女	日本	同志社大学人文科学研究科	嘱託研究員	近代蚕業史アーカイブ・モデルの構築 —蚕業関連資料の保存と活用—

別表（5）2019年度笹川科学研究助成奨励賞受賞者一覧表

No.	研究領域	助成者名	性別	国籍	所属機関：名称	所属機関：職名	研究課題
1	人文・社会	大野 絢也	男	日本	一橋大学大学院社会学研究科総合社会科学専攻	博士後期課程 5年	日中戦争期の中国における交通建設と地域社会の変容—粵漢鉄道を中心として—
2	人文・社会	木下 実紀	女	日本	大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻	博士後期課程 1年	イラン近代における社会批判精神の表出—知識人による西欧文学の翻訳行為から—
3	数物・工学	中島 義基	男	日本	筑波大学大学院数理物質科学研究科電子・物理工学専攻	博士前期課程 2年	フレキシブル全固体薄膜二次電池の創製を目指した革新負極技術の開発
4	数物・工学	奥井 恒	男	日本	新潟大学大学院自然科学研究科数理物質科学専攻素粒子論研究室	博士後期課程 2年	原始重力波で探る素粒子右巻きニュートリノ
5	化学	中島 誠也	男	日本	千葉大学大学院薬学研究院	助教	可視光をエネルギー源とする超原子価ヨウ素化合物の創成
6	化学	Azzah Dyah Pramata	女	インドネシア	熊本大学大学院自然科学研究	博士後期課程 3年	ペロブスカイト型量子ドットとレドックスクラスターを用いた光エネルギー貯蔵
7	生物	見原 翔子	女	日本	東京工業大学科学技術創成研究院化学生命科学研究所	研究員	窒素固定型・ヘテロシスト形成型シアノバクテリアに固有のレドックス制御システムの解明
8	生物	向井 正哉	男	日本	総合研究大学院大学生命科学研究所基礎生物学専攻	博士課程2年	細胞周期への定量生物学的アプローチ：Cyclin と CDK の定量から細胞周期システムを理解する
9	生物	常盤 俊大	男	日本	日本獣医生命科学大学獣医学部獣医学科	講師	寄生性カリオスポラ属原虫の系統分類からみた鳥類宿主への適応過程
10	生物	西村 明洋	男	日本	京都大学院理学研究科植物系統分類学学科	修士課程1年	海洋島の根寄生植物シマウツボにおける生態と宿主特異性進化の実態
11	複合	竹村 謙信	男	日本	静岡大学創造科学技術大学院バイオサイエンス専攻	博士課程2年	局所プラズモン共鳴効果に基づく磁気分離型ナノバイオセンサーの作製と複数ウイルス検出への応用
12	複合	川又 基人	男	日本	総合研究大学院大学複合科学研究科極域科学専攻	博士課程5年	東南極の宗谷海岸地域における最終氷期最盛期以降の氷床後退過程の復元
13	海洋関連研究	齊藤 豪大	男	日本	久留米大学経済学部経済学科	専任講師	18世紀スウェーデンにおける北極圏での捕鯨政策構想と展開：政府・商人・科学アカデミーの関係に注目して
14	海洋関連研究	塩満 大祐	男	日本	九州大学大学院工学府海洋システム工学専攻	博士後期課程 2年	外圧を受けるリング補強円筒殻の高精度な座屈強度推定式の開発
15	実践	東 義詔	男	日本	公益財団法人花と緑の銀行中央植物園部	企画情報課主任	海産希少種子植物ウミクサ類の野外調査手法の開発
16	実践	國眼 厚志	男	日本	兵庫県朝来市立竹田小学校	教諭	障害をもつ人たちのための科学体験活動

別表（6）2020年度日中未来共創プロジェクト図書寄贈実績表

（単位：冊数）

No.	寄贈対象大学	第1回	第2回	第3回	第4回
		10月	10月	12月	3月
1	上海交通大学	154	61	0	95
2	上海海事大学	24	110	0	0
3	南京大学	100	47	0	0
4	江南大学	40	0	0	61
5	寧波大学	0	258	0	0
6	雲南大学	637	897	0	247
7	広西師範大学	0	0	0	25
8	吉林大学珠海学院	17,847	0	0	0
9	黒龍江大学	262	0	0	215
10	延辺大学	50	226	0	152
11	吉林大学	565	0	0	0
12	中国医科大学	43	65	0	104
13	大連外国語大学	545	2,677	0	900
14	遼寧師範大学	0	62	0	27
15	大連医科大学	41	0	0	21
16	大連海事大学	146	0	0	76
17	大連理工大学	138	0	0	0
18	瀋陽師範大学	32	0	0	0
19	渤海大学	0	82	0	0
20	清華大学	43	36	0	46
21	北京大学	0	55	30,358	105
22	中国社会科学院	0	0	0	0
23	山東大学	0	115	0	29
24	山東大学（威海）	0	0	0	55
25	国際贈書中心	466	3,365	0	0
26	大連民族学院	121	108	0	0
27	天津外国語大学	0	61	0	25
28	北華大学	65	33	0	122
29	中国海洋大学	0	111	0	15
30	上海師範大学	294	738	0	254
31	浙江越秀外国語学院	954	3,710	0	7,821
32	中南財經政法大学	465	151	0	250
33	武漢大学	513	78	0	95
34	井岡山大学	537	431	0	1,061
35	東北師範大学	148	5,519	0	729
36	上海外国語大学	1,562	2,959	0	64
37	華東理工大学	207	237	0	292
38	嘉興学院	187	47	0	0
39	内蒙古師範大学	1,715	128	0	0
40	雲南民族大学	0	0	0	43
41	中国農業大学	0	1,007	0	94
42	西安外国語大学	661	0	0	163
43	暨南大学	479	824	0	1,967
44	吉林外国語大学	208	479	0	0
45	湖南科技学院	5,134	2,618	0	1,751
46	南京工業大学	1,886	5,233	0	678
47	東北財經大学	623	44	0	0
48	海南大学	0	0	0	329
49	九江学院	0	0	0	89
	回数別寄贈合計	36,892	32,572	30,358	18,000
	合計				117,822

別表(7) 2020年度サイエンスメンタープログラム研究一覧表

No.	氏名	学校名	学年	性別	研究テーマ	メンター/アシスタント氏名	所属先
1	三野 正太郎	宮城県古川黎明高等学校	3年生	男	回折格子を用いた流星の分光観測	山本 真行	高知工科大学
2	河原 羽夢	愛媛県立長浜高等学校	3年生	女	Mg ²⁺ とCa ²⁺ による刺胞射出の抑制 ポリブにおける刺胞射出抑制効果の検証	高田 裕美	愛媛大学
3	中野 優子	皇學館高等学校	2年生	女	フジノハナガイの行動と生活史の解明	木村 妙子	三重大学
4	遠田 剛志	海城高等学校	2年生	男	リップルマークの研究	山口 直文	茨城大学
5	平野 りん	洗足学園高等学校	2年生	女	メタンハイドレートの分析及び、環境に配慮した上で私たちの生活に本当に活用できるのか	藤田 貢崇	法政大学
6	川村 佳未	洗足学園高等学校	2年生	女	錠剤を飲み込みやすくする方法～粘性を調整する～	斎藤 拓	東京農工大学
7	高倉 幹太	海城高等学校	2年生	男	柱状節理の断面の形と溶岩の粘性の関係	秋葉 祐里	山梨大学
8	池田 隼	海城高等学校	2年生	男	操作性と応用性に優れたポータブル赤道儀の開発	椎名 達雄	千葉大学
9 ※	野田 晃司	清風高等学校	2年生	男	シマミズ <i>Eisenia fetida</i> を用いたヘドロミズ堆肥の可能性	金田 哲	農研機構
10	清水 亮祐	茨城県立並木中等教育学校	2年生	男	植物廃材を利用したバイオエネルギー	鬘谷 要	和洋女子大学
11	森下 礼智	東京シューレ葛飾中学校	2年生	男	音楽聴取によるモチベーションと記憶力の関係について	大上 真礼	金沢学院大学
12 ※	有川 慶彦	千葉県立千葉高等学校	2年生	男	鳥類における叉骨-胸骨間の形態比較～標本データベースを利用した比較解剖学的研究～	土岐田 昌和	東邦大学
13	鶴身 柚木	茨城県立並木中等教育学校	2年生	女	着色を用いずに特定の波長の光をカットする	椎名 達雄	千葉大学
14	若松 美沙	順天高等学校	2年生	女	光とアニマルセラピーの効果を応用した新たなリラクゼーションロボットの研究	和田 一義	東京都立大学
15	安藤 久真梨	名城大学附属高等学校	3年生	女	学校教育における微生物燃料電池の実用化	廣岡 佳弥子	岐阜大学
	山崎 楓斗		2年生	男			
16	須賀 碧人	東京都立戸山高等学校	2年生	男	ポリフェノールと金属イオンの反応 ～ノビレチンとケルセチン～	照屋 俊明	琉球大学
17	石村 文子	東京都立戸山高等学校	2年生	女	内藤とうがらしの種子を使って草木染めを行う	鬘谷 要	和洋女子大学
18	高橋 朝陽	埼玉県立熊谷西高等学校	2年生	男	光触媒を用いた人工光合成	高山 大鑑	東京工業大学
	舛田 義輝		2年生	男			
19	植村 ゆり香	Li Po Chun United World College of Hong Kong	3年生	女	タンポポのラテックスの抗菌作用	高橋 征司	東北大学
20	二階堂 有希乃	青森県立八戸高等学校	2年生	女	筒内を這い上がる砂のメカニズム解明への考察	稲垣 紫緒	九州大学
21	水谷 紗更	東京都立小石川中等教育学校	3年生	女	目に見えない気体を可視化する研究	野口 尚史	同志社大学
	玉川 玲奈		3年生	女			
22	栢元 洗樹	東京都立小石川中等教育学校	3年生	男	金色の金属樹の作成	箕田 弘喜	東京農工大学
23	佐藤 優衣	宮城県古川黎明高等学校	2年生	女	回折格子を用いた流星の分光観測	山本 真行	高知工科大学
	加藤 優熙		1年生	男			
24	五條 麟太郎	攻玉社高等学校	1年生	男	温室培養による能見堂緑地を中心とした変形菌相の調査	出川 洋介 吉橋 佑馬	筑波大学
25	岩佐 茜	群馬工業高等専門学校	1年生	女	固体酸と固体塩基の pH 差を利用した水の低電圧電気分解	八巻 徹也	高崎量子応用研究所
	29名	18校			25研究	メンター：22名、アシスタント：1名	

※優秀賞受賞研究

別表（8）役員名簿

（2021年3月31日現在）

役職	常勤・ 非常勤	氏 名	就任 年月日	担当職務	現 職 (専門分野)
会長	非常勤	高橋 正征	2020年 6月30日	業務の議決 ・執行等	東京大学名誉教授 高知大学名誉教授 (生態学)
常務理事	常 勤	石倉 康弘	2018年 6月15日	会長補佐 日常業務の執行等	(公財)日本科学協会常務理事 (公益法人業務)
同	同	佐々木 文君	2017年 6月28日	日常業務の執行等	(公財)日本科学協会常務理事 (公益法人業務)
理事	非常勤	川口 春馬	2012年 4月1日	業務の議決・執行等	慶應義塾大学名誉教授 (工学、応用化学、高分子合成)
同	同	木村 龍治	同	同	東京大学名誉教授 (気象、海洋、陸水学)
同	同	和崎 春日	同	同	中部大学国際関係学部客員教授 (文化人類学)
同	同	室伏 きみ子	2020年 6月30日	同	お茶の水女子大学学長 (細胞生物学、生化学、科学教育)
同	同	渡邊 雄一郎	同	同	東京大学大学院総合文化研究科生命環境科学系 教授 (生物学・分子生物学、農学・植物病理学)
監事	非常勤	菅井 明則	2016年 6月10日	業務執行等の監査	(公財)笹川平和財団常務理事
同	同	馬目 利昭	2020年 6月30日	同	馬目公認会計士事務所代表

別表（9）評議員名簿

（2021年3月31日現在）

役職	常勤・非常勤	氏名	就任年月日	担当職務	現職 (専門分野)
評議員	非常勤	門野 泉	2012年 4月1日	決算の承認等	清泉女子大学名誉教授 (公財)東京財団政策研究所理事長 (英国ルネッサンス演劇、比較演劇学)
同	同	西原 祥子	2016年 6月10日	同	創価大学糖鎖生命システム融合研究所所長・教授 (糖鎖生物学)
同	同	前野 隆司	同	同	慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 (システムデザイン・マネジメント、ロボティクス、幸福学、感動学、協創学等)
同	同	前田 晃	2017年 11月14日	同	(公財)日本財団専務理事
同	同	境 浩光	2020年6月 30日	同	科学新聞社取締役営業部長
同	同	竹本 和彦	同	同	(一社)海外環境協力センター理事長 東京大学未来ビジョン研究センター特任教授
同	同	中村 和生	同	同	北里大学名誉教授 (生化学)
同	同	山崎 壮	同	同	実践女子大学生活科学部食生活科学科教授 (食品衛生学、食品学、天然物化学)

2020年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

前記のとおり相違ありません。

2021年 5月18日

公益財団法人 日本科学協会

代表理事（会長） 高橋 正 征

2020年度事業報告書は、法令及び定款に従い、本会の状況を正しく示しているものと認めます。

理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

2021年 5月20日

公益財団法人 日本科学協会

監 事 菅 井 明 則 印

監 事 馬 目 利 昭 印

